

2 ニーズ調査結果からみた高齢者の状況

本計画の策定にあたり、高齢者の生活実態を踏まえ、介護・福祉サービスなどのニーズを的確に把握し、意見を反映させる必要があるため、国の「日常生活圏域ニーズ調査」の内容を踏まえた「高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査」（以下「高齢者実態調査」という。）を実施しました。

■ 調査概要

◇調査対象

一般高齢者調査 : 今治市全域の65歳以上の自立高齢者の方のうち
2,000人を無作為抽出

要支援・要介護認定者調査 : 今治市全域の要支援・要介護認定を受けている
65歳以上の方のうち、2,000人を無作為抽出

◇調査方法 郵送配布・郵送回収による調査（無記名）

◇調査期間 平成23年7月28日～平成23年8月12日

◇回収状況

単位：部、%

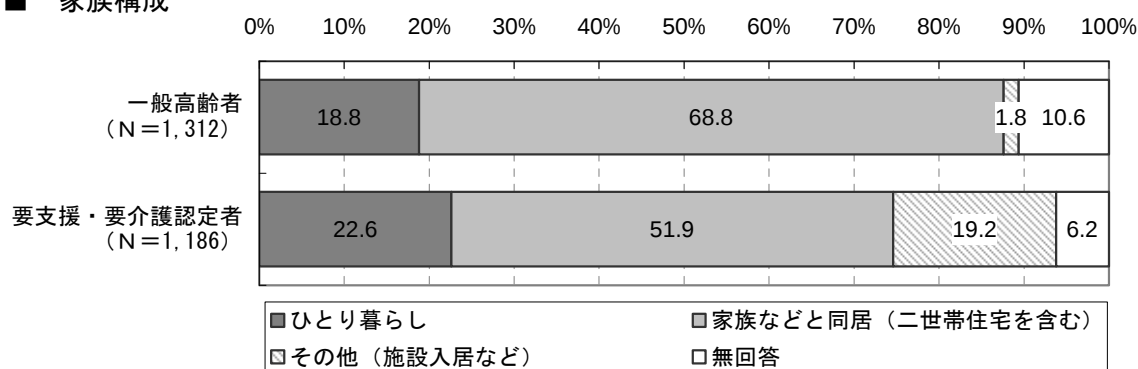
調査種別	配布数	有効回収数	有効回収率
一般高齢者調査	2,000	1,312	65.6
要支援・要介護認定者調査	2,000	1,186	59.3
合 計	4,000	2,498	62.5

(1) 家族や生活状況について

① 家族構成

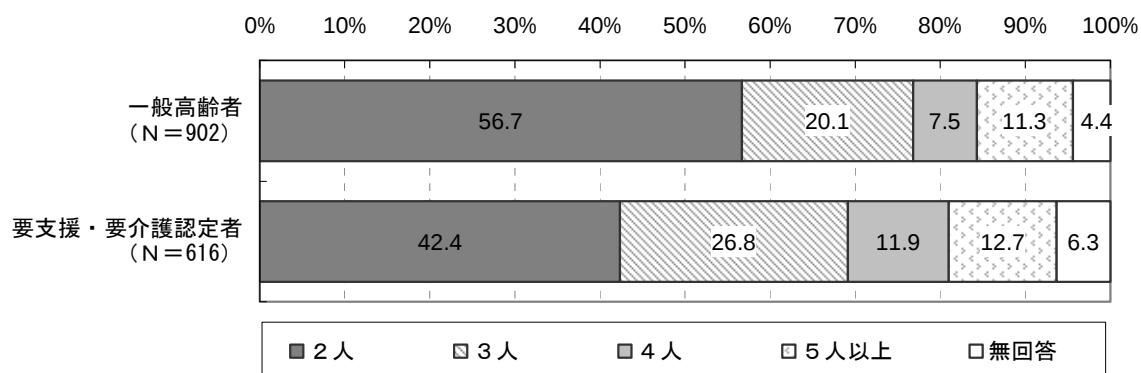
家族構成については、65 歳以上の一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「家族など同居」が最も多くなっています。

■ 家族構成



家族など同居していると回答した人に、世帯人員をたずねると、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「2人」が最も多くなっています。

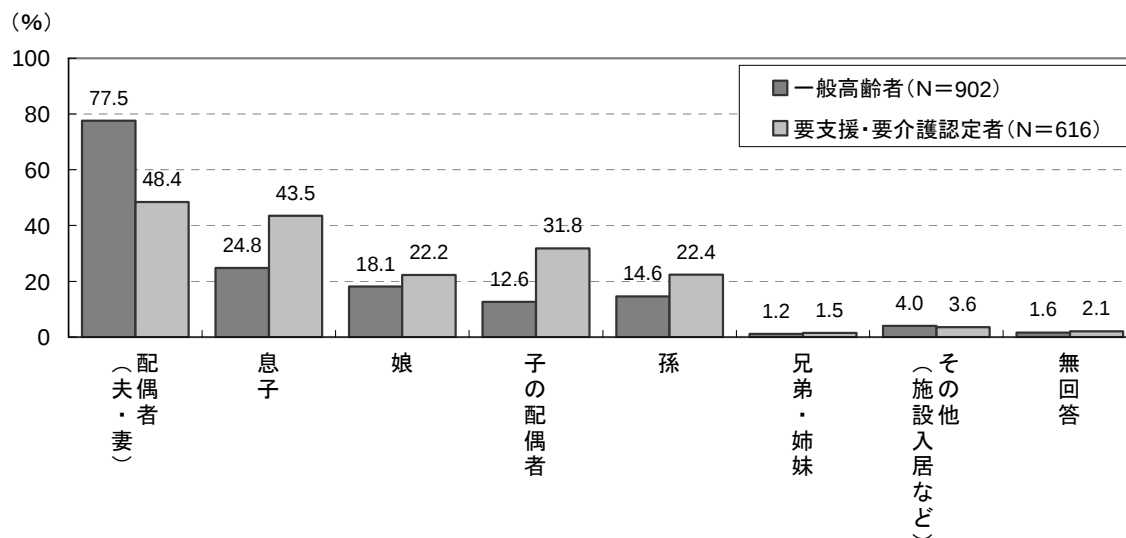
■ 世帯人員（「家族など同居」と回答した人のみ）



グラフ中の「N」は基数で、その質問に対する該当者数を表す。以下同じ。

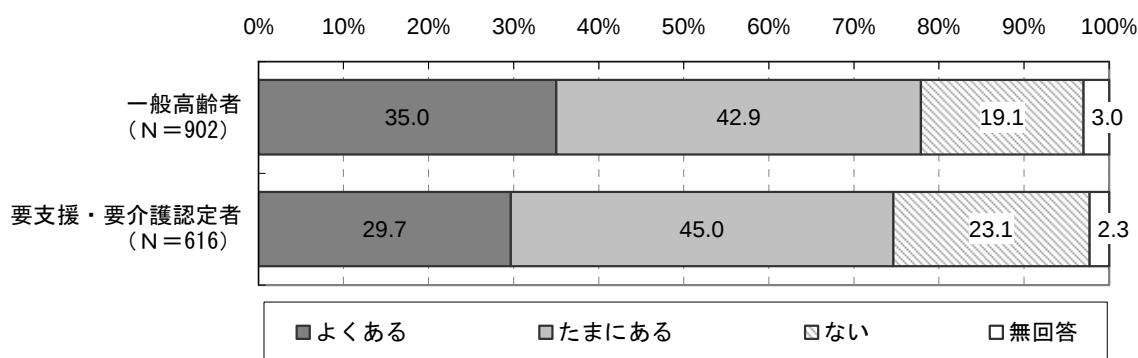
家族などと同居していると回答した人に、どなたと同居しているかをたずねると、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「配偶者（夫・妻）」が最も多く、次いで「息子」となっています。

■ 同居家族（「家族などと同居」と回答した人のみ）＜複数回答あり＞



家族などと同居していると回答した人に、日中一人になることがあるかをたずねると、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「よくある」、「たまにある」が7割を超えています。

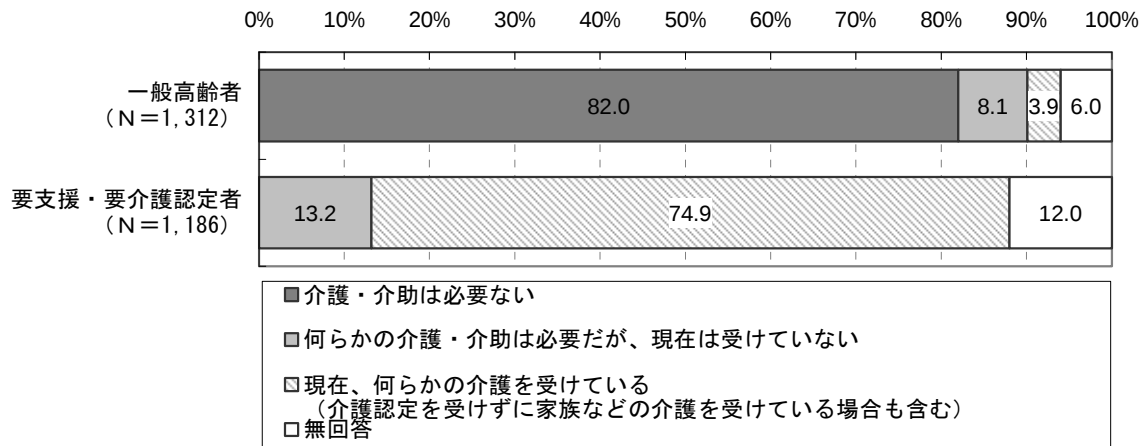
■ 日中一人になること（「家族などと同居」と回答した人のみ）



② 介護が必要な高齢者の状況

普段の生活での介護・介助の必要性については、要支援・要介護認定者では「現在、何らかの介護を受けている」が最も多くなっています。

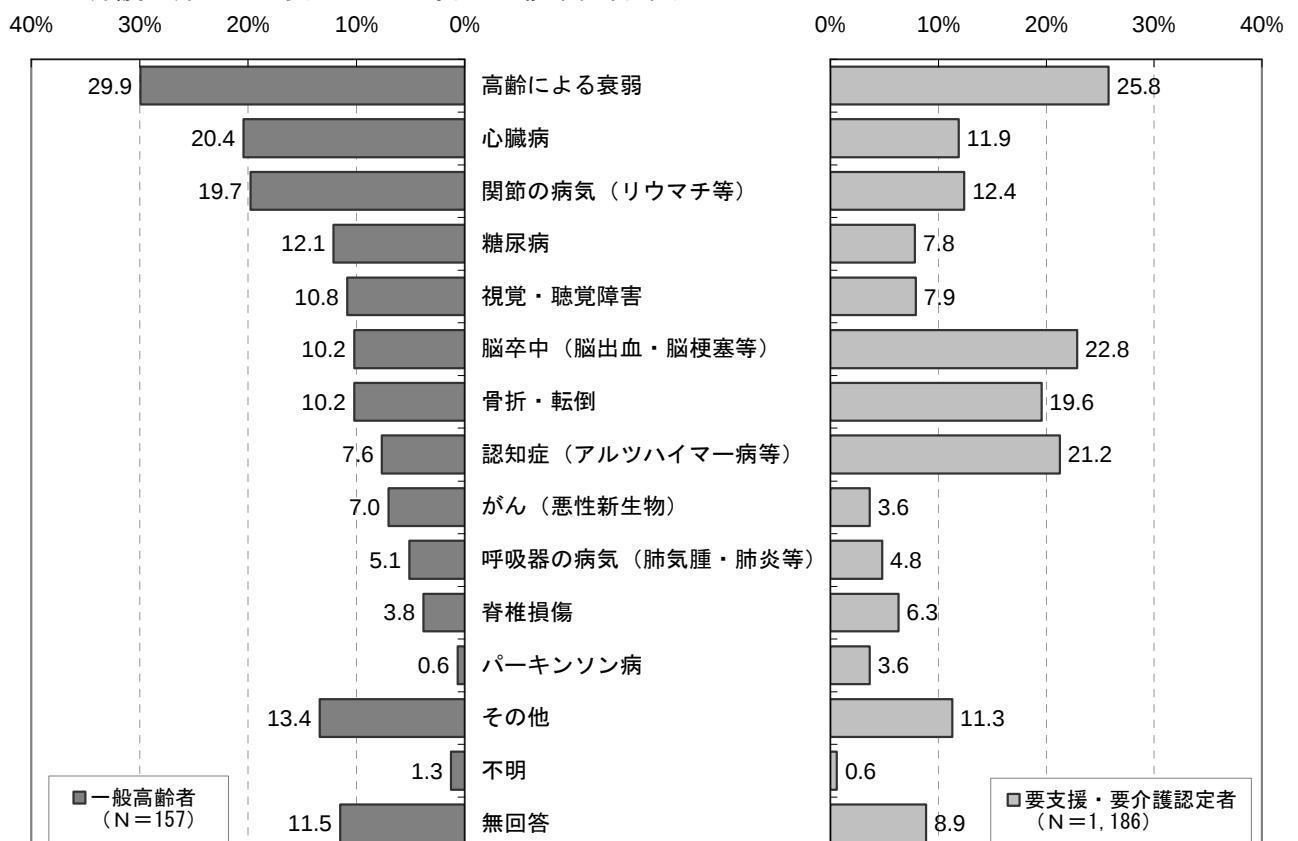
■ 介護・介助の必要性



何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない、又は現在、何らかの介護を受けていると回答した一般高齢者に、介護・介助が必要になった主な原因をたずねると、「高齢による衰弱」が最も多く、次いで「心臓病」となっています。

要支援・要介護認定者では、「高齢による衰弱」が最も多く、次いで「脳卒中」、「認知症」、「骨折・転倒」となっています。

■ 介護・介助が必要になった原因 <複数回答あり>

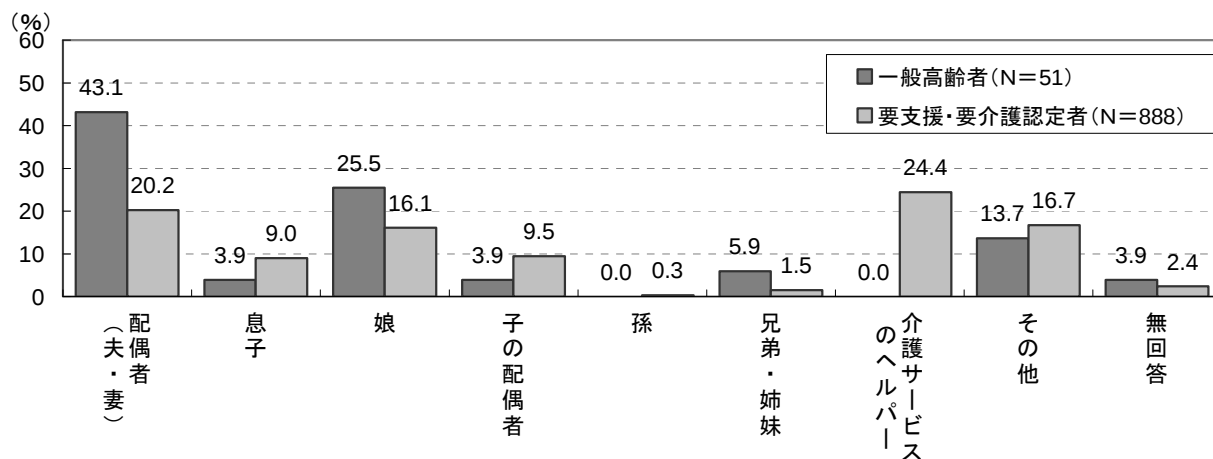


③ 主な介護者の状況

現在、何らかの介護を受けていると回答した人に、主な介護・介助者をたずねると、一般高齢者では「配偶者（夫・妻）」が最も多く、次いで「娘」となっています。

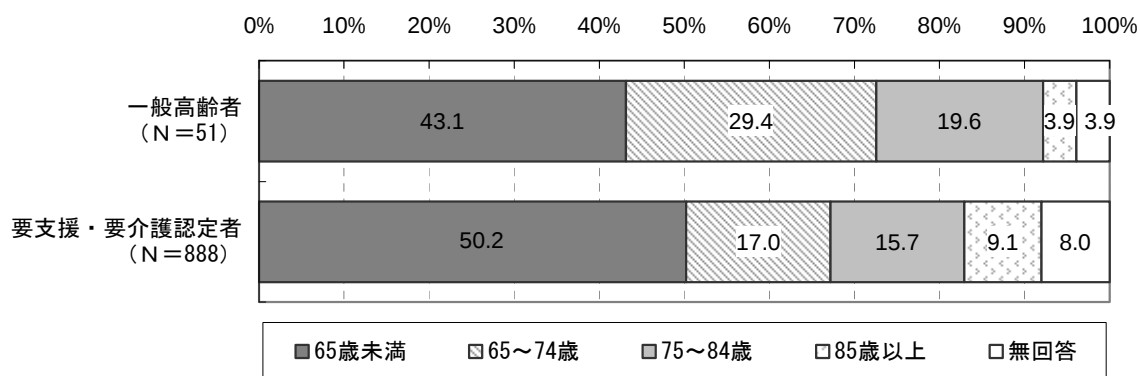
一方、要支援・要介護認定者では「介護サービスのヘルパー」が最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」となっています。

■ 主な介護・介助者（「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人のみ）



現在、何らかの介護を受けていると回答した人に、主な介護・介助者の年齢をたずねると、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「65歳未満」が最も多く、次いで「65～74歳」、「75～84歳」となっています。

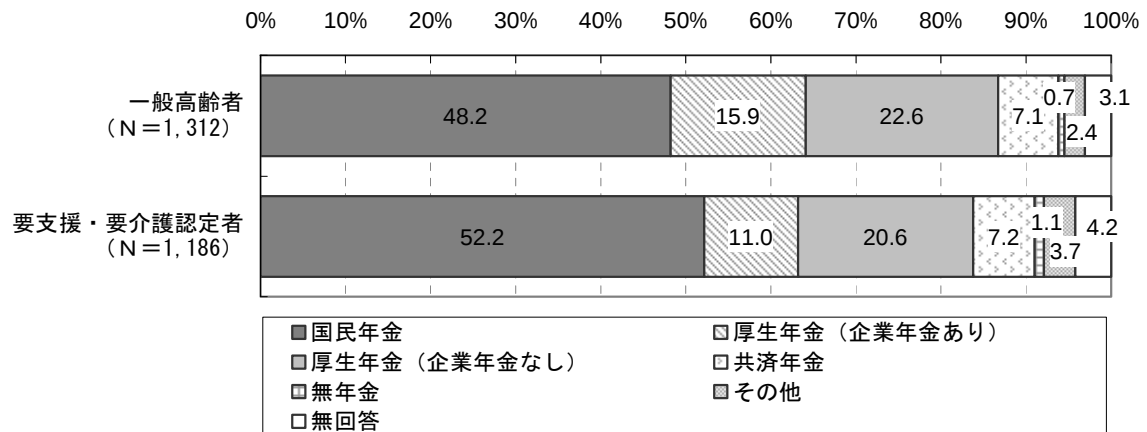
■ 主な介護・介助者の年齢（「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人のみ）



④ 経済的な状況

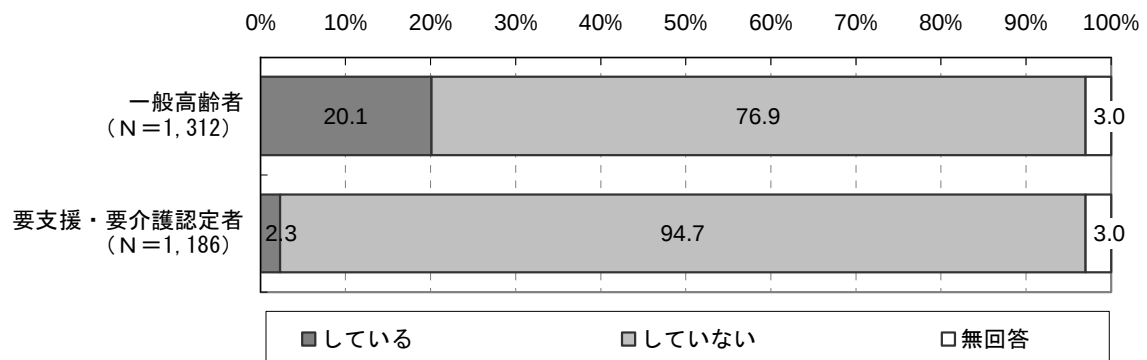
年金の種類については、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「国民年金」が最も多くなっています。

■ 年金の種類



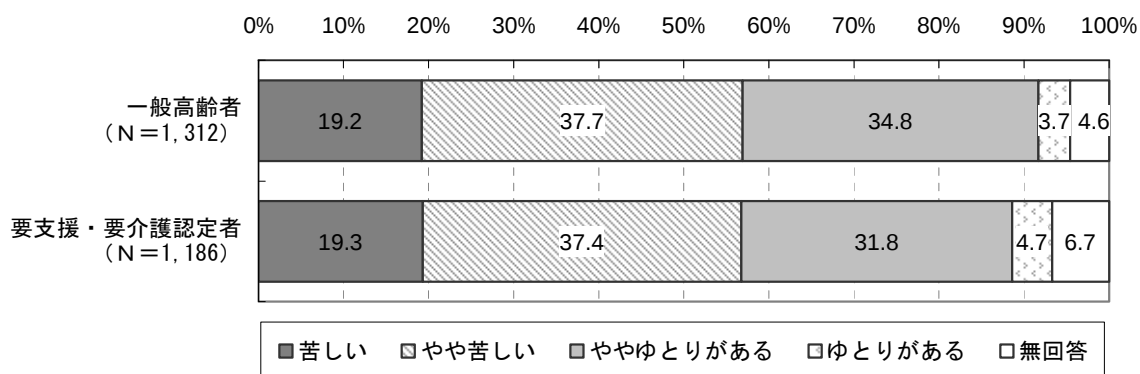
収入のある仕事をしているかについては、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「していない」が大半を占めています。

■ 収入のある仕事の有無



経済的にみた現在の暮らしの状況については、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「苦しい」、「やや苦しい」と感じている人が過半数を占めています。

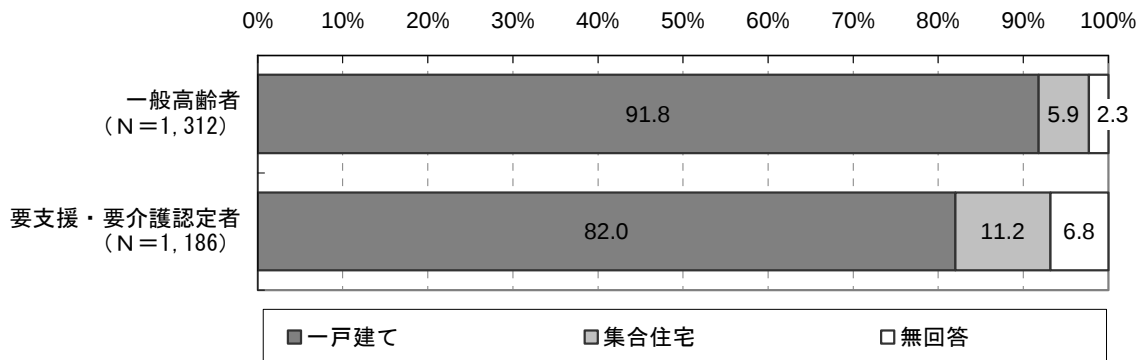
■ 経済的にみた暮らしの状況



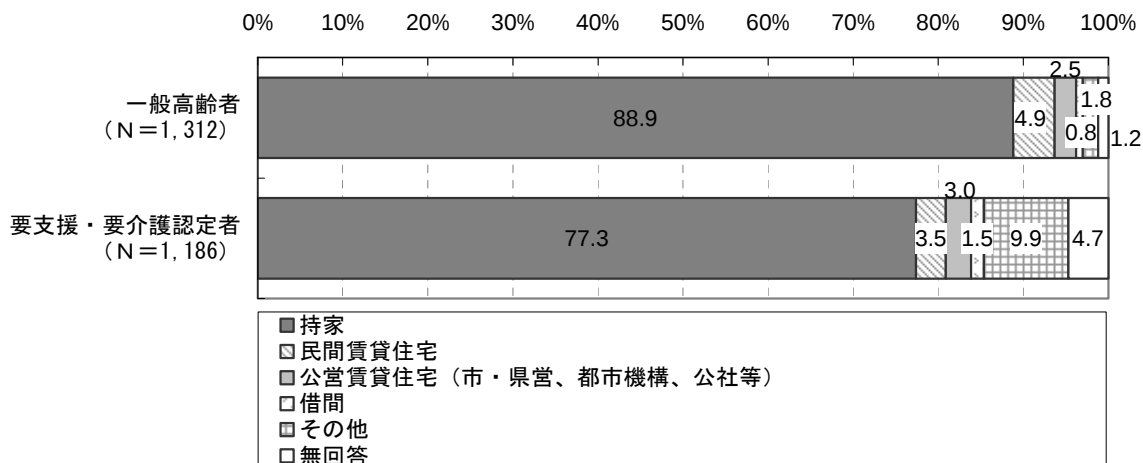
⑤ 住まいの状況

住まいの状況については、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「一戸建て」の「持家」に居住している人が大半を占めています。

■ 住まいの種類

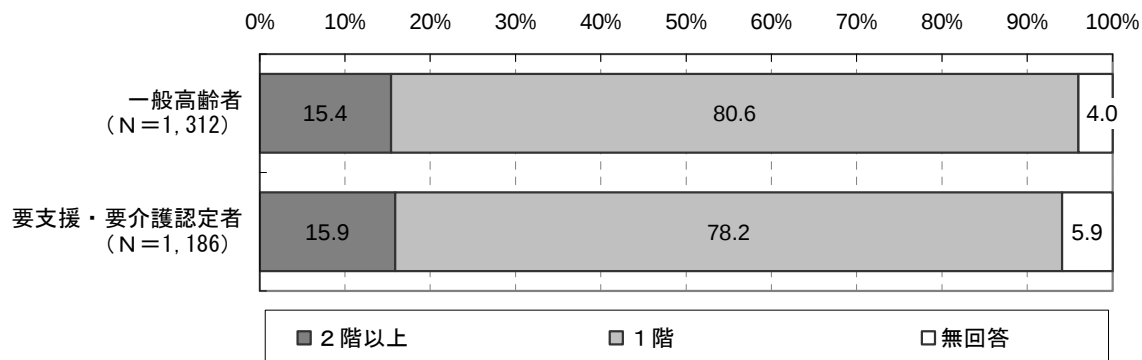


■ 住まいの所有形態



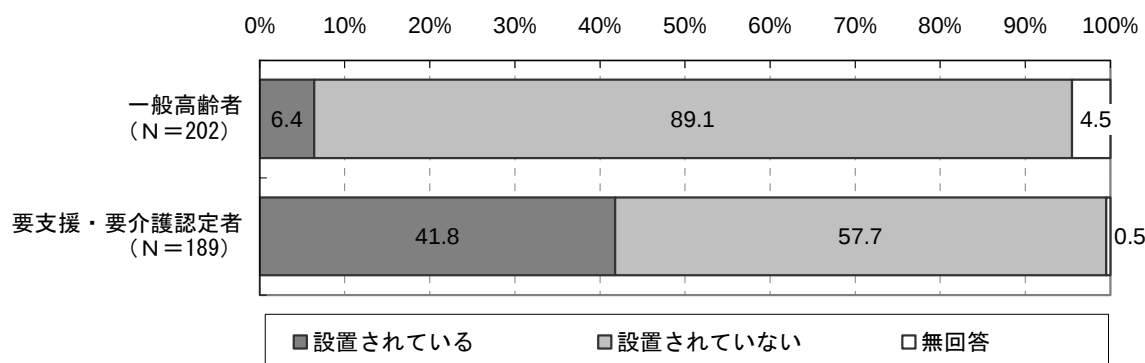
居住スペースについては、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「1階」が大半を占めています。居住スペースが2階以上にある人は、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに2割近くとなっています。

■ 居住スペース



居住スペースが2階以上と回答した人に、エレベーター設置の有無をたずねると、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「設置されていない」が大半を占めています。

■ エレベーター設置の有無（「2階以上」と回答した人のみ）



(2) 運動・閉じこもりについて

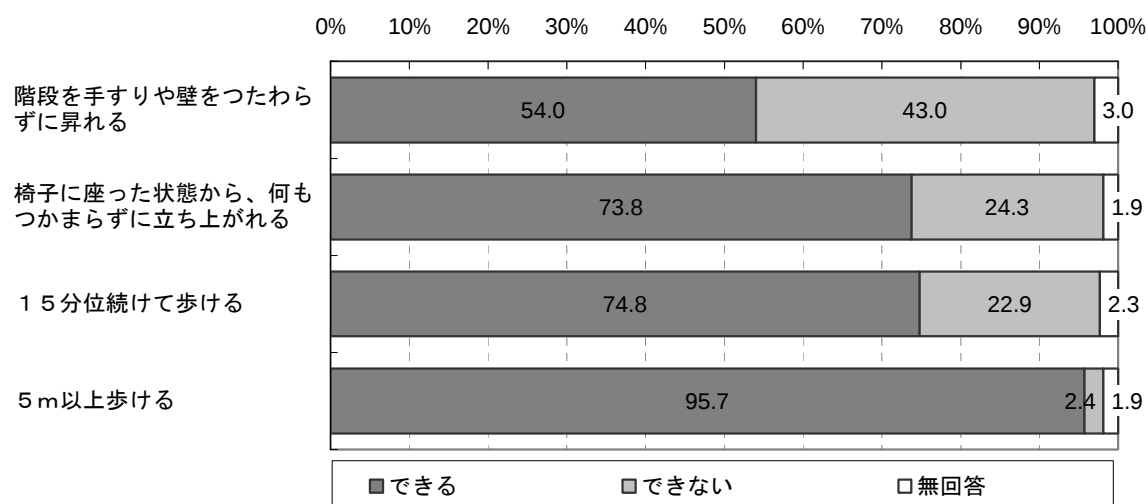
① 運動の状況

運動の状況については、一般高齢者では全ての項目で「できる」が「できない」を上回っているものの、「階段を手すりや壁をつたわずに昇れる」では「できない」が4割を超えています。

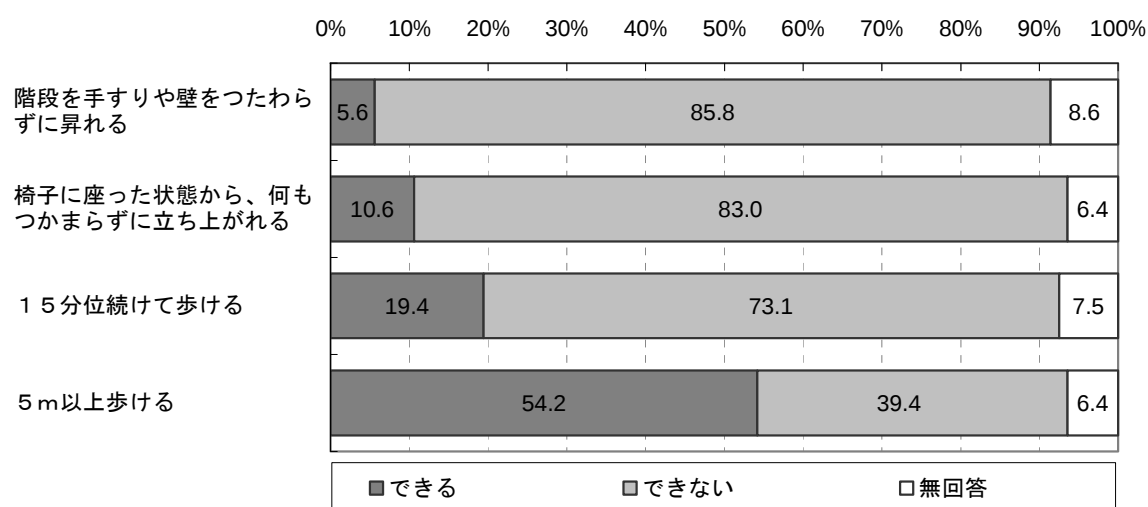
一方、要支援・要介護認定者では「5 m以上歩ける」以外の項目については「できない」が大半を占めています。

■ 運動の状況

□ 一般高齢者（N=1,312）



□ 要支援・要介護認定者（N=1,186）



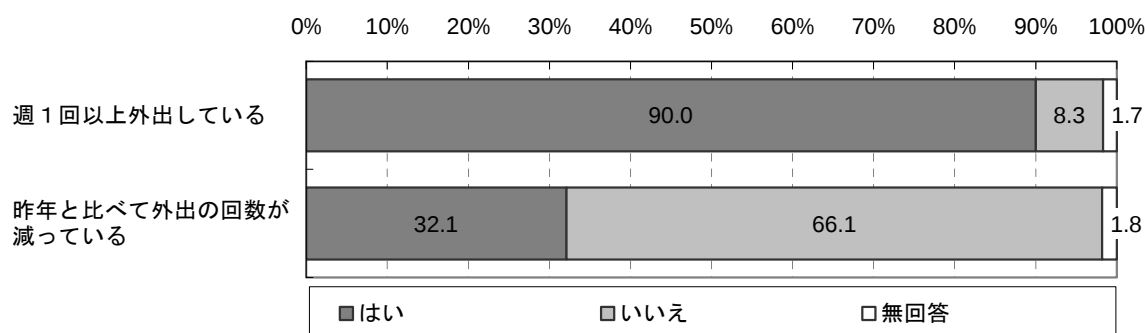
② 外出の状況

外出の状況については、一般高齢者では全ての項目で肯定的な回答が多くなっているものの、外出頻度が週1回未満の人が1割近く、昨年と比べて外出の回数が減っている人が3割を超えています。

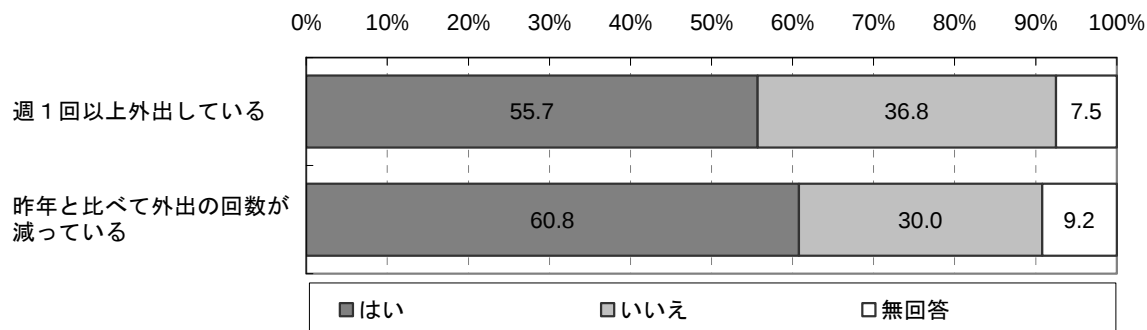
一方、要支援・要介護認定者では、外出頻度が週1回未満の人が4割近くを占め、「昨年と比べて外出の回数が減っている」が6割を超えています。

■ 外出の状況

□ 一般高齢者（N=1,312）

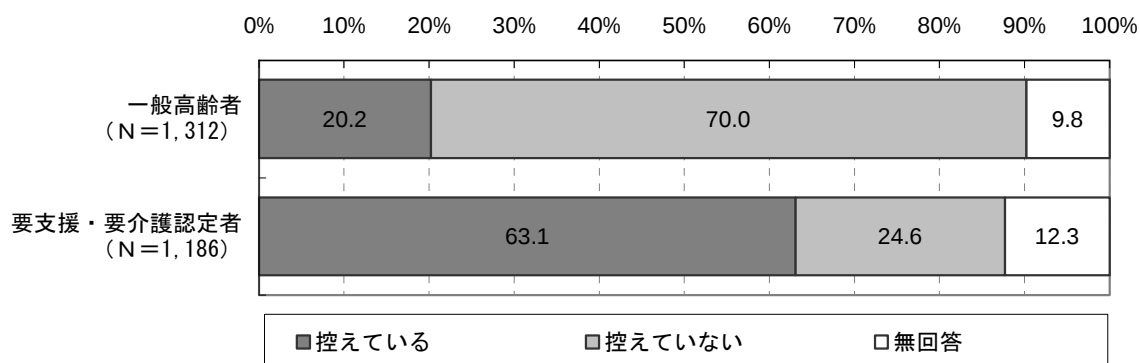


□ 要支援・要介護認定者（N=1,186）



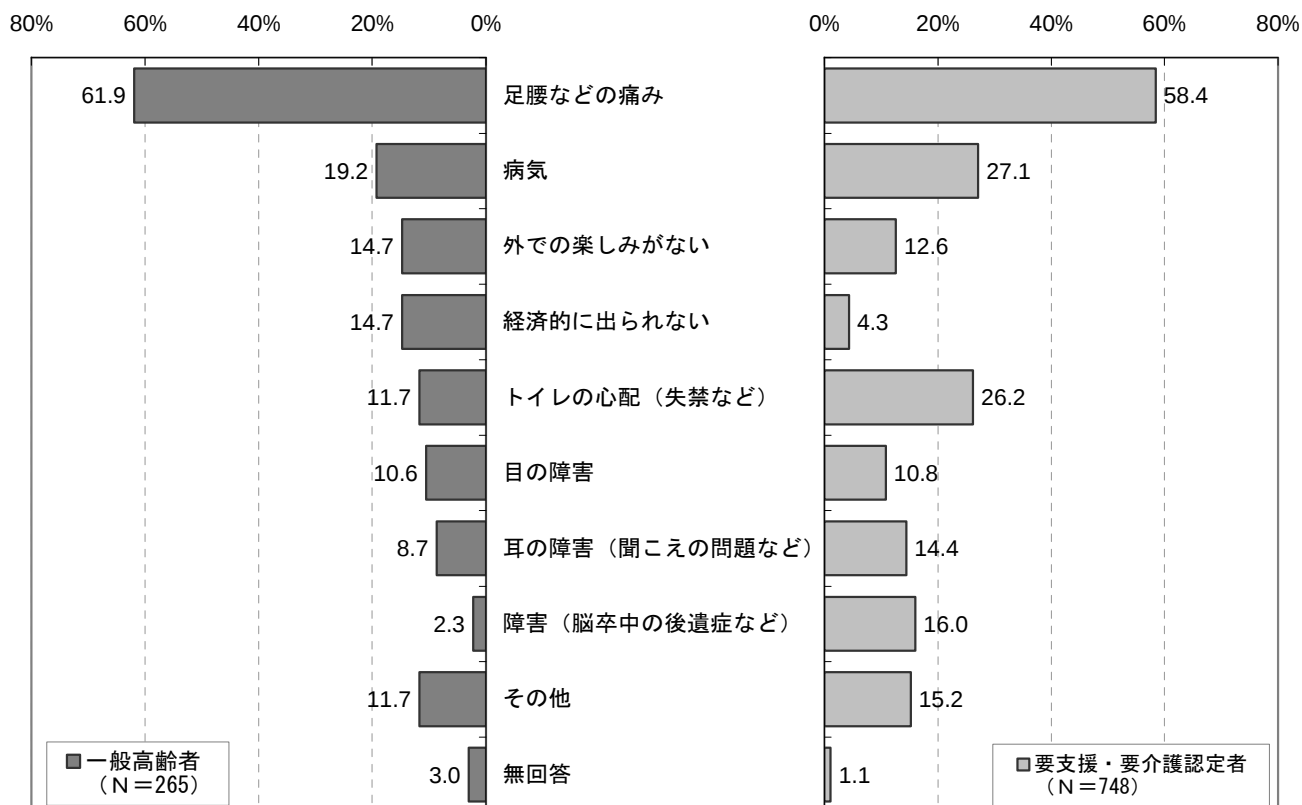
外出を控えているかについては、「控えている」と回答した人が一般高齢者では2割程度、要支援・要介護認定者では6割を超えています。

■ 外出の控え状況



外出を控えていると回答した人に、その理由をたずねると、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「足腰などの痛み」が最も多く、次いで「病気」となっています。

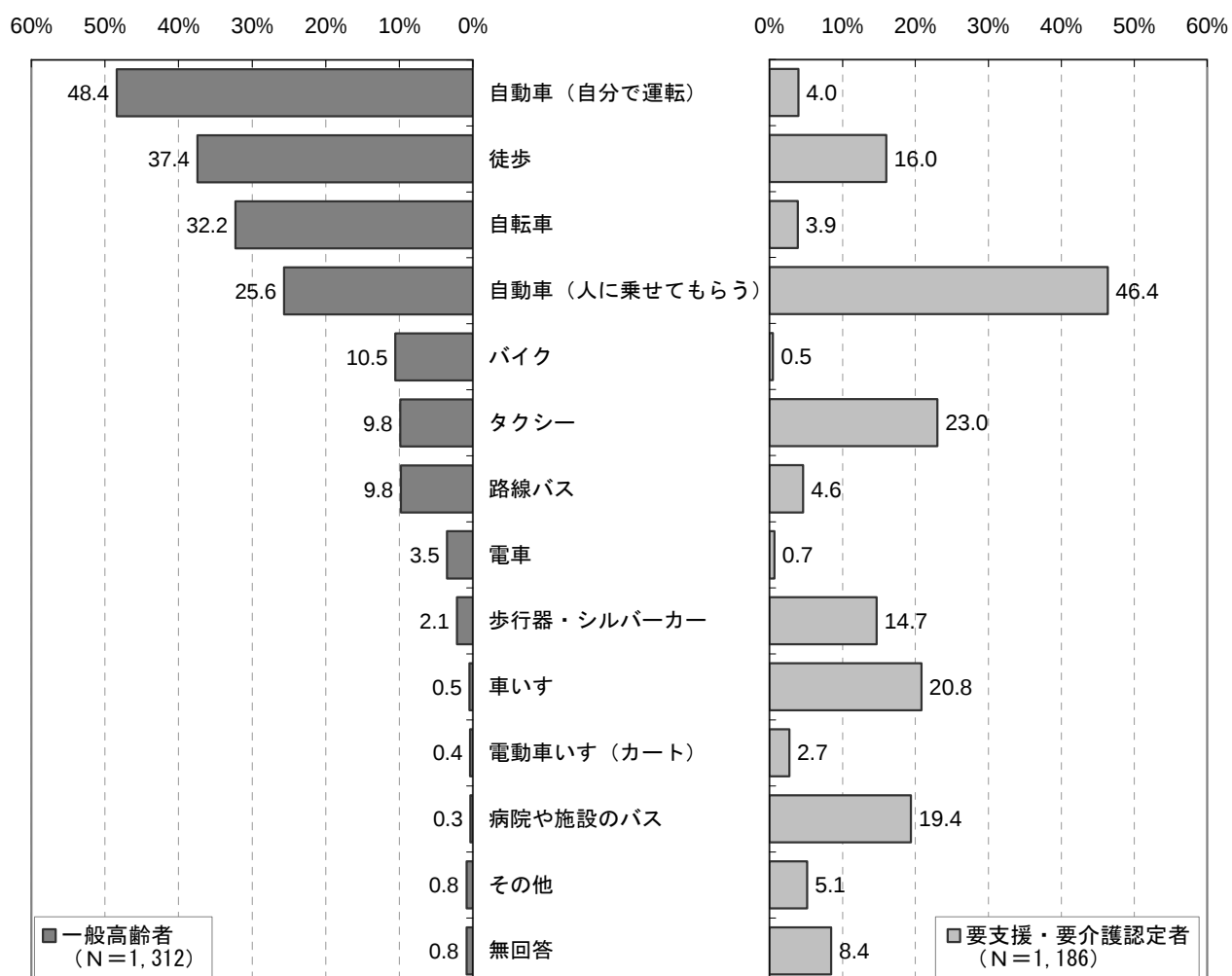
■ 外出を控えている理由（外出を「控えている」と回答した人のみ）＜複数回答あり＞



外出の際の移動手段については、一般高齢者では「自動車（自分で運転）」が最も多く、次いで「徒歩」、「自転車」となっており、自ら動く移動手段で外出する人が多くなっています。

一方、要支援・要介護認定者では「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多く、次いで「タクシー」、「車いす」となっており、人の手を借りる移動手段で外出する人が多い結果となっています。

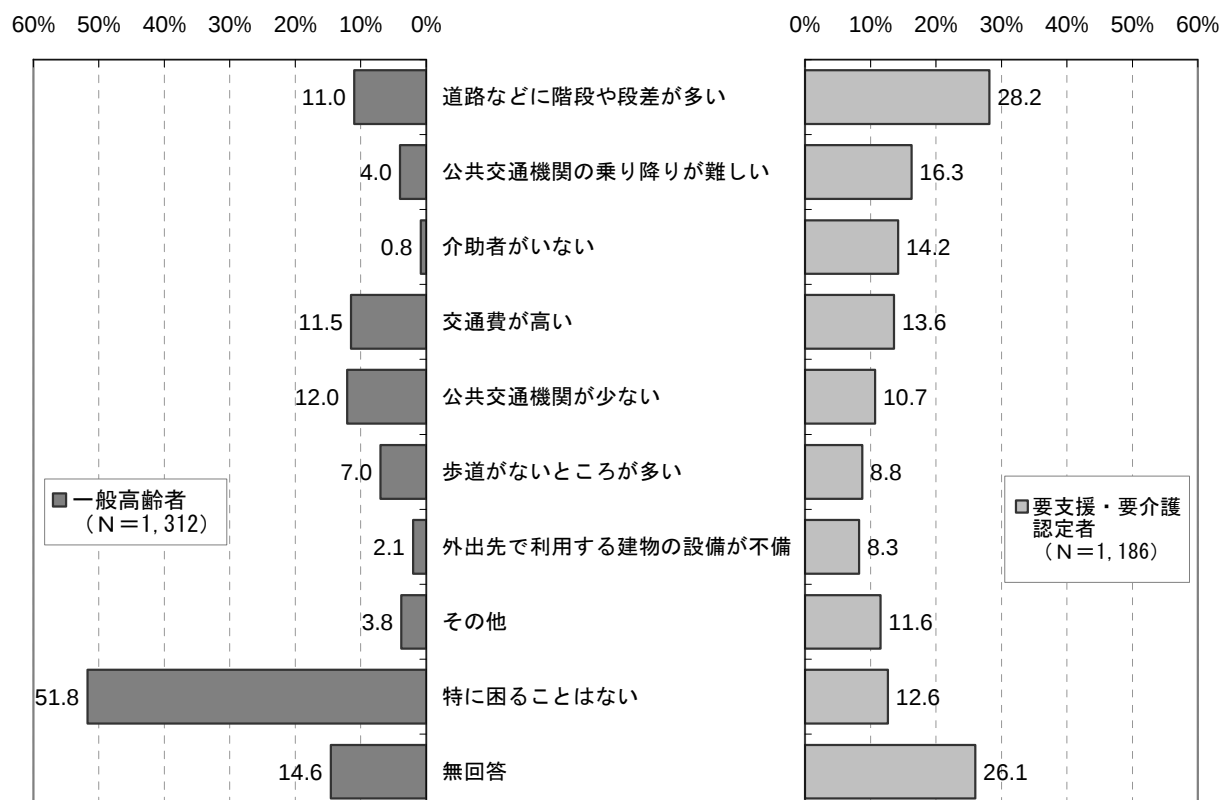
■ 外出の際の移動手段＜複数回答あり＞



外出の際に困ることについては、一般高齢者では「特に困ることはない」が過半数を占めています。

一方、要支援・要介護認定者では「道路などに階段や段差が多い」が最も多く、次いで「公共交通機関の乗り降りが難しい」、「介助者がいない」などとなっています。

■ 外出の際に困ること＜複数回答あり＞



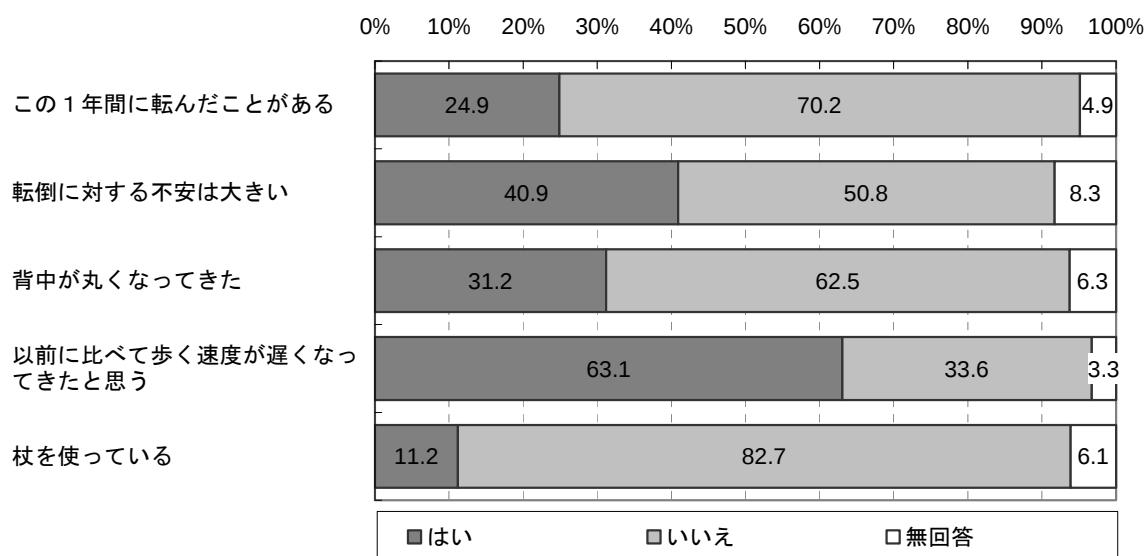
(3) 転倒予防について

歩行や転倒については、一般高齢者ではほとんどの項目で「いいえ」が「はい」を上回っているものの、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思う」が6割を超えています。

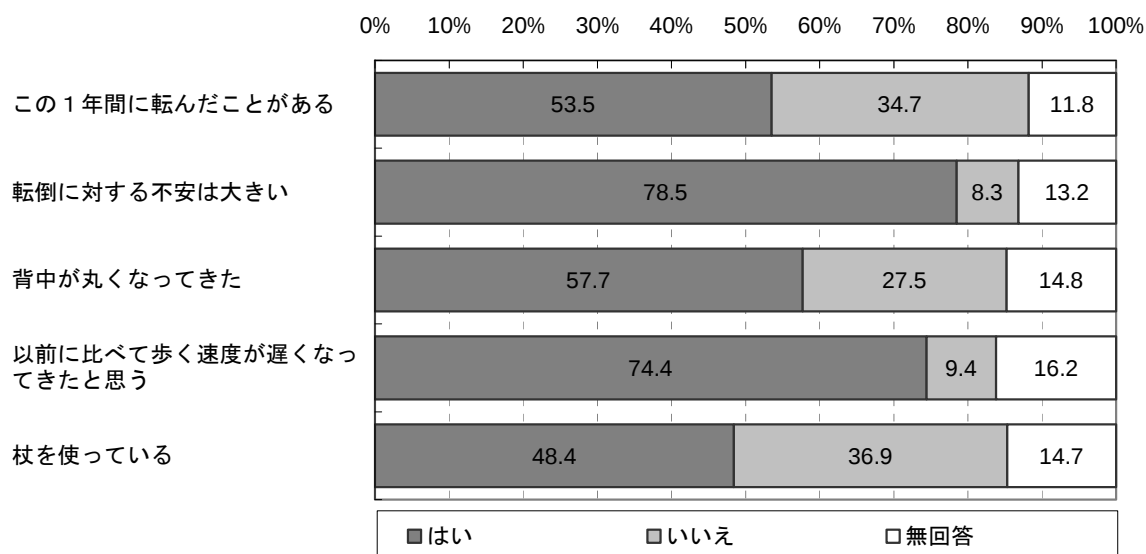
一方、要支援・要介護認定者では、全ての項目で「はい」が「いいえ」を上回っており、特に転倒に対する不安を感じている人が大半を占めています。

■ 歩行や転倒の状況

□ 一般高齢者（N=1,312）



□ 要支援・要介護認定者（N=1,186）



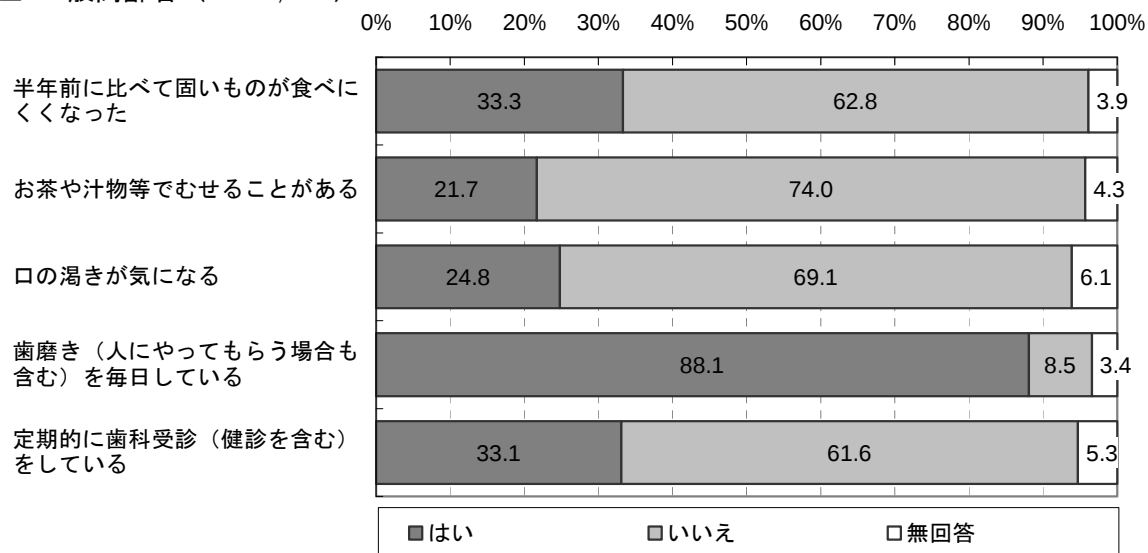
(4) 口腔・栄養について

口腔や栄養については、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「歯磨きを毎日している」では「している」が大半を占めているものの、「定期的に歯科受診をしている」では「受診していない」が6割を超えています。

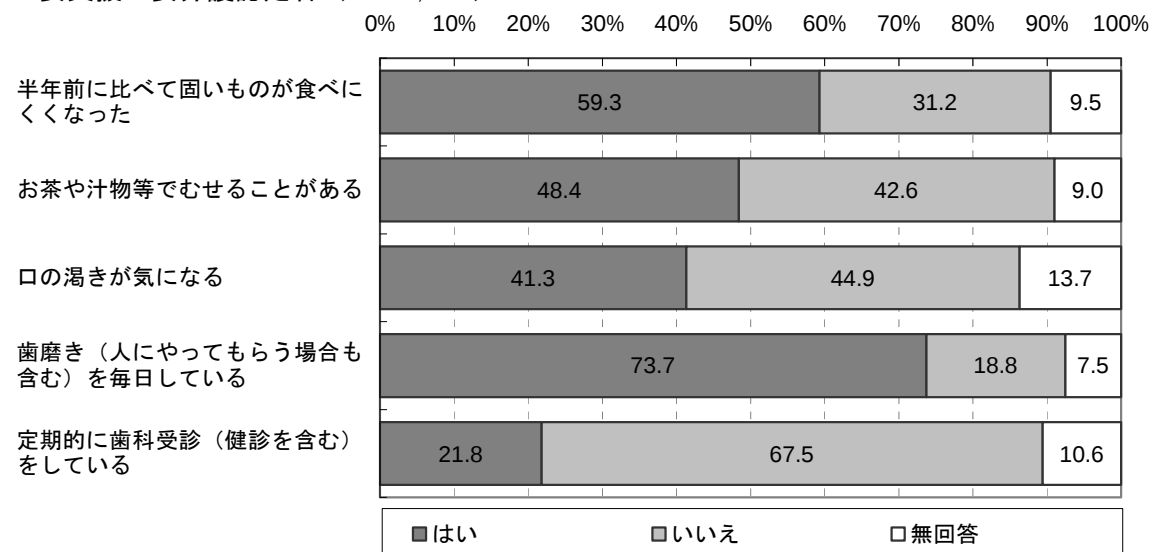
また、要支援・要介護認定者では「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」、「お茶や汁物等でむせることがある」と回答した人が多く、口腔機能の変化を感じている人が多い結果となっています。

■ 口腔・栄養の状況

□ 一般高齢者（N=1,312）



□ 要支援・要介護認定者（N=1,186）



(5) 物忘れについて

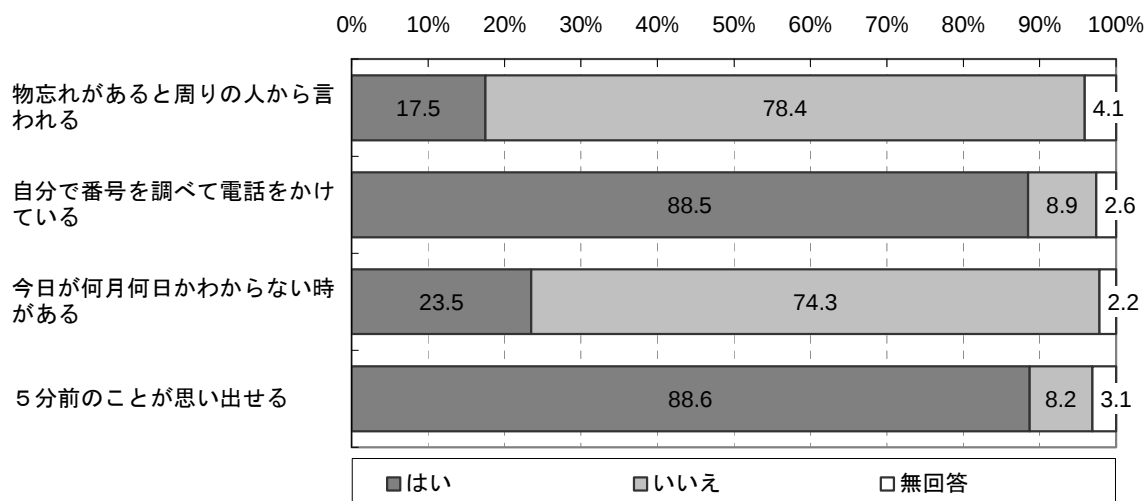
① 物忘れ

物忘れについては、一般高齢者では、全ての項目で肯定的な回答が大半を占めているものの、「今日が何月何日かわからない時がある」では「ある」が2割を超えています。

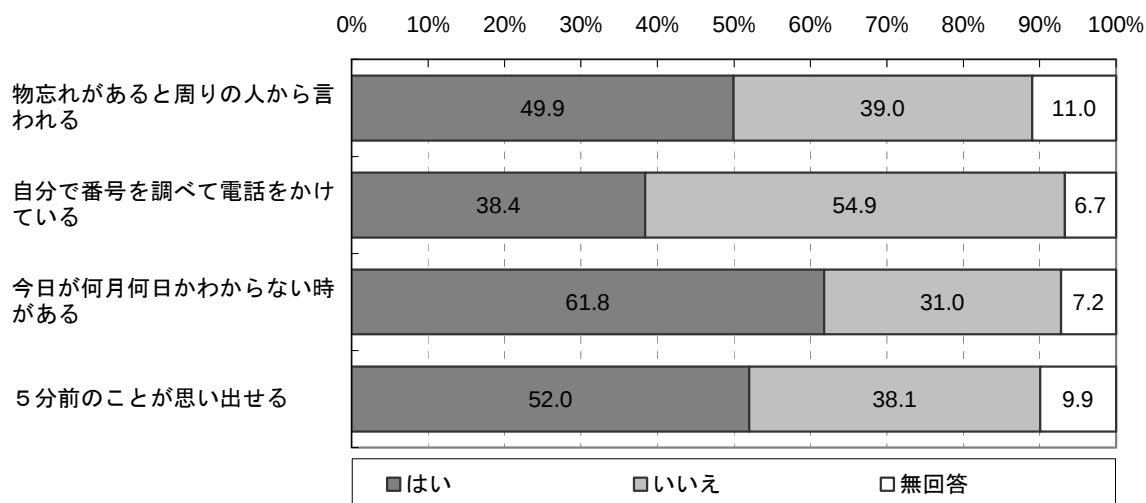
一方、要支援・要介護認定者では「物忘れがあると周りの人から言われる」、「今日が何月何日かわからない時がある」については「はい」が「いいえ」を上回っており、物忘れがあると感じている人が多い結果となっています。

■ 物忘れの状況

□ 一般高齢者（N=1,312）



□ 要支援・要介護認定者（N=1,186）

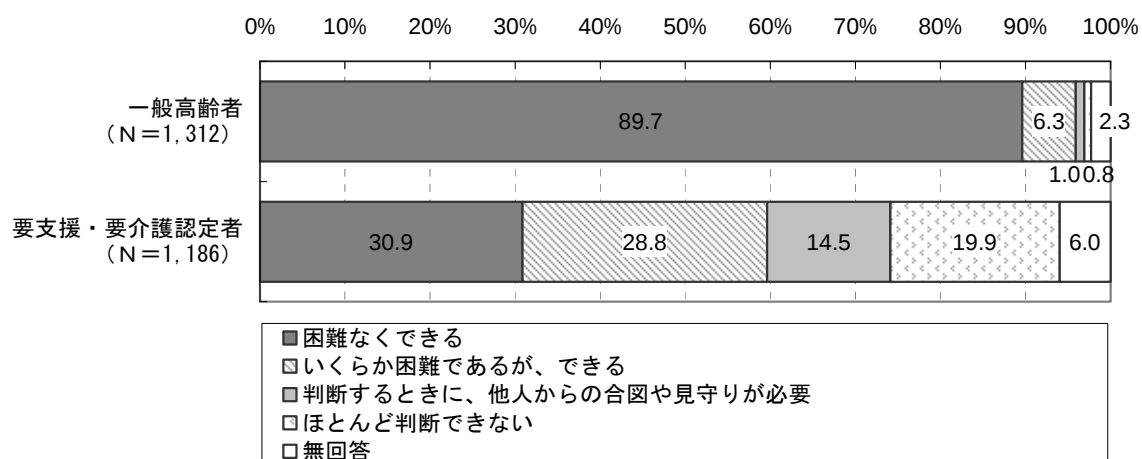


② 活動の判断

1日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）の判断については、一般高齢者では「困難なくできる」が大半を占めています。

一方、要支援・要介護認定者では「判断するときに、他人からの合図や見守りが必要」、「ほとんど判断できない」が3割を超えています。

■ 活動の判断状況

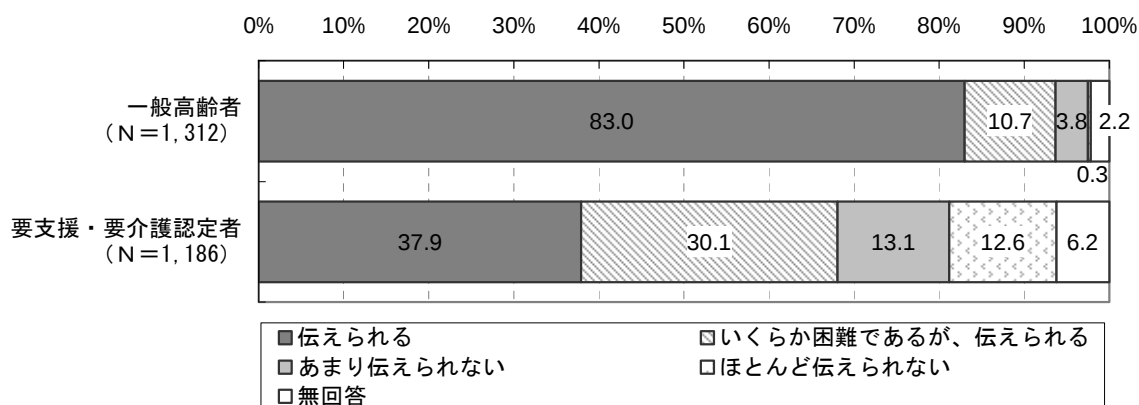


③ 自分の考えの伝達

自分の考えの伝達については、一般高齢者では「伝えられる」が大半を占めています。

一方、要支援・要介護認定者では「あまり伝えられない」、「ほとんど伝えられない」が3割近くを占めています。

■ 自分の考えの伝達状況



(6) 日常生活について

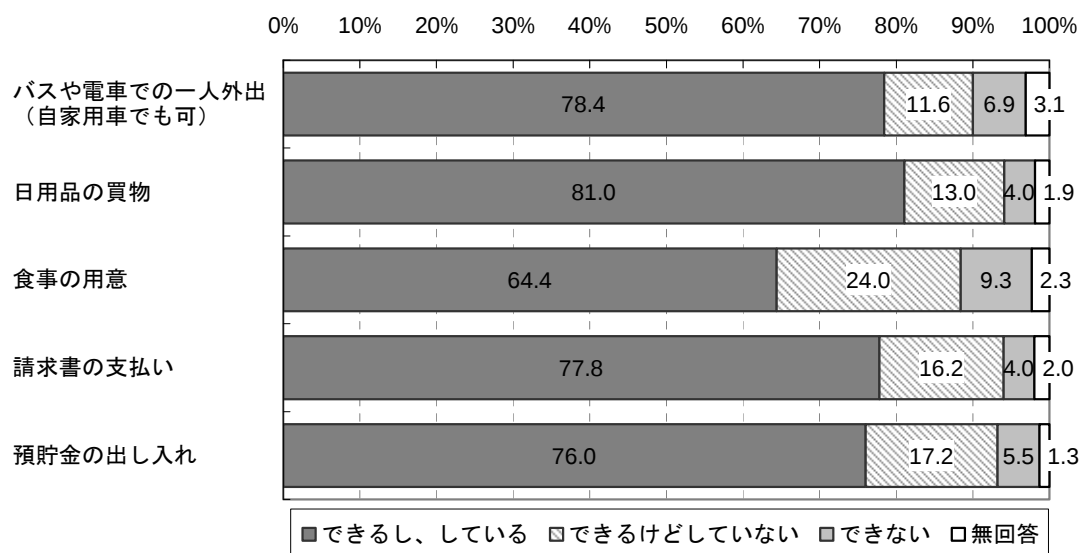
① 日常生活

日常生活については、一般高齢者では、全ての項目で「できるし、している」が最も多くなっているものの、「食事の用意」では「できるけどしていない」、「できない」が3割を超えています。

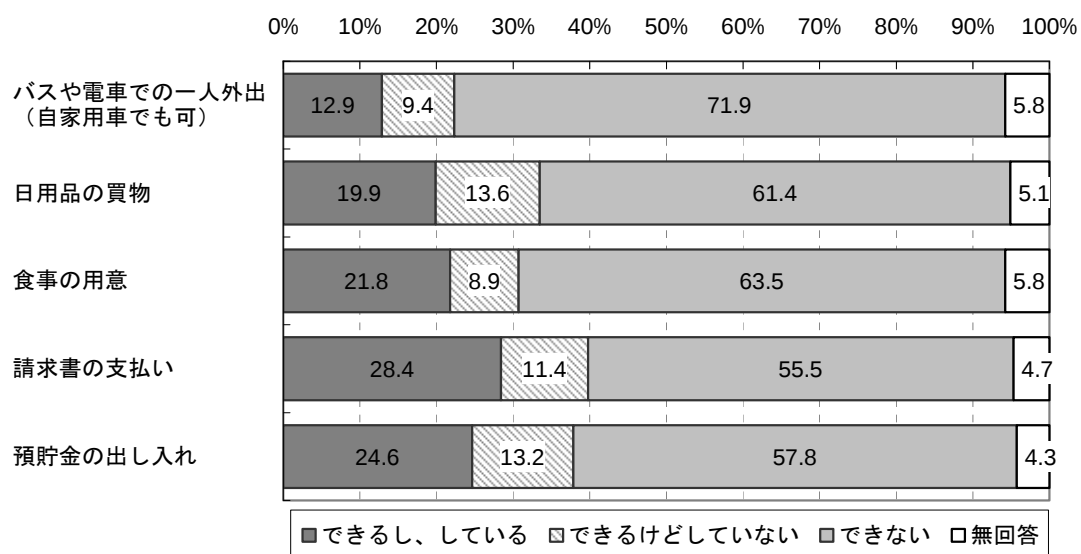
一方、要支援・要介護認定者では、全ての項目で「できない」が最も多く、特に「バスや電車での一人外出」では「できない」が7割を超えています。

■ 日常生活の状況

□ 一般高齢者（N=1,312）



□ 要支援・要介護認定者（N=1,186）



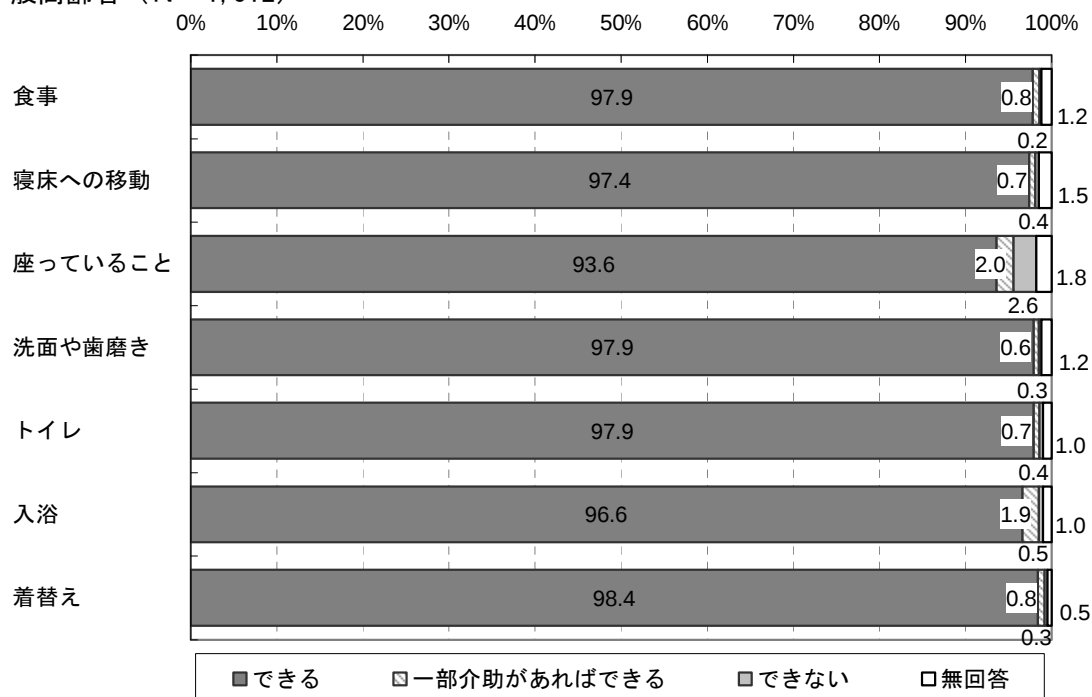
② 基本動作

基本動作については、一般高齢者では、全ての項目で「できる」が大半を占めています。

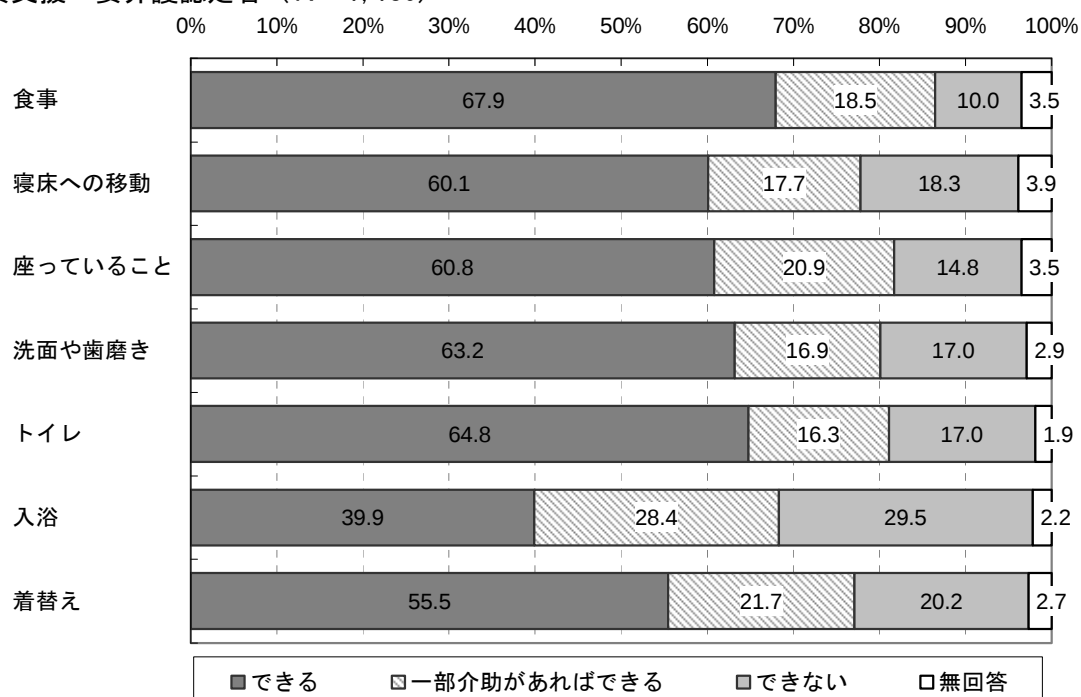
一方、要支援・要介護認定者では、全ての項目で「できない」が1割を超え、特に「入浴」では3割近くを占めています。

■ 基本動作の状況

□ 一般高齢者（N=1,312）



□ 要支援・要介護認定者（N=1,186）



(7) 社会参加について

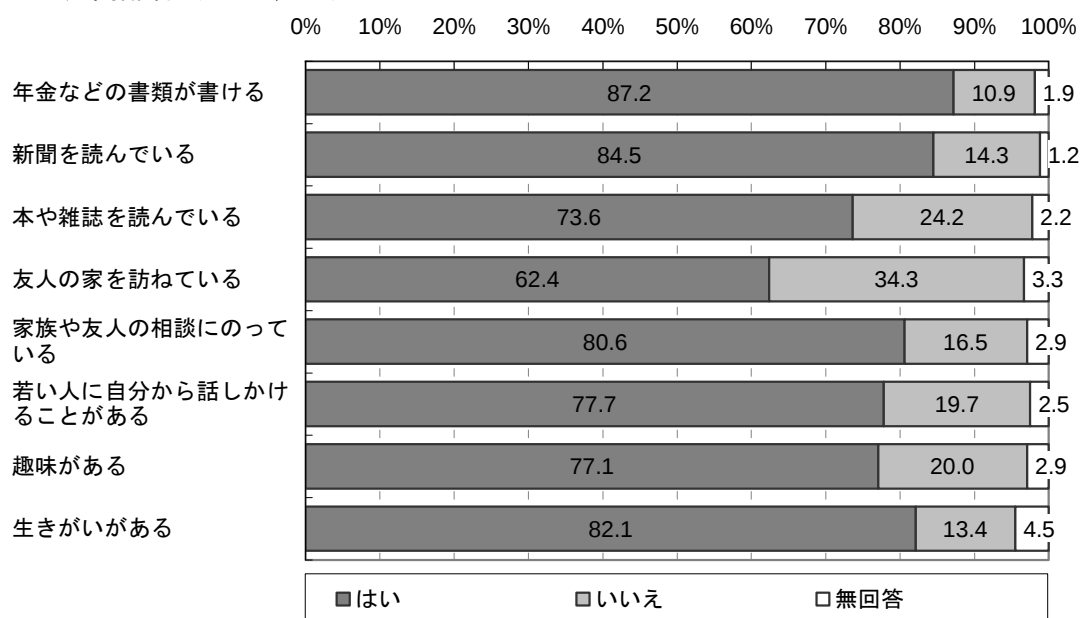
① 社会生活

社会生活については、一般高齢者では、全ての項目で「はい」が「いいえ」を大きく上回っています。

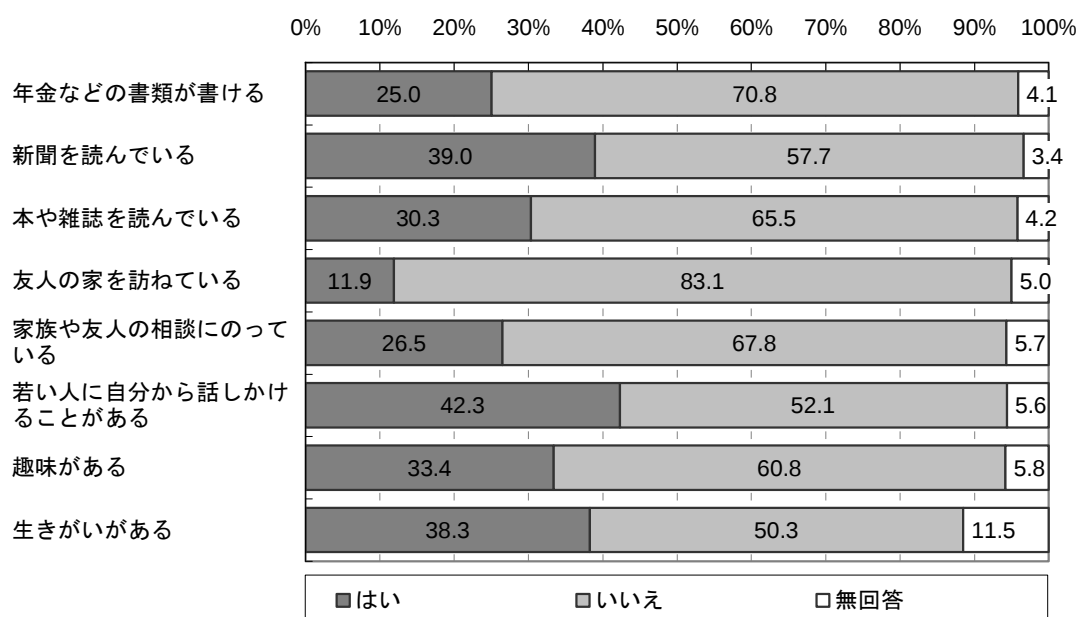
一方、要支援・要介護認定者では、全ての項目で「いいえ」が「はい」を上回っています。そのうち、「趣味がある」、「生きがいがある」については、「ある」がともに4割近くを占めています。

■ 社会生活の状況

□ 一般高齢者（N=1,312）



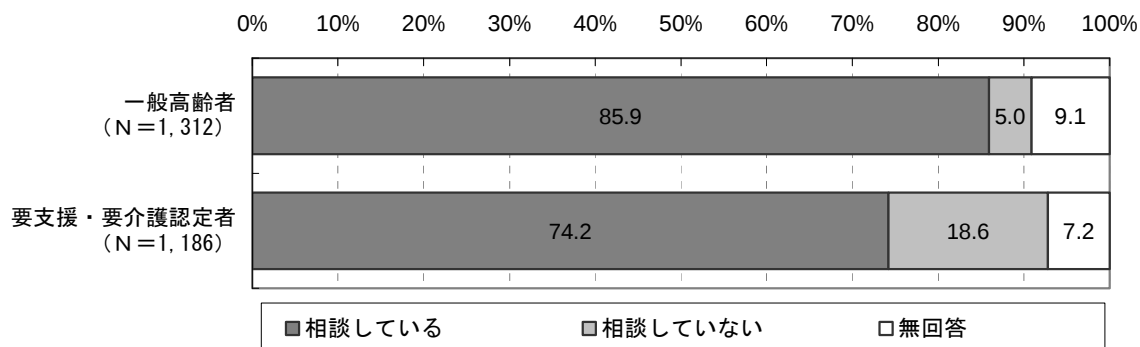
□ 要支援・要介護認定者（N=1,186）



② 相談

何かあったときの家族や友人・知人などへの相談については、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「相談している」が大半を占めています。

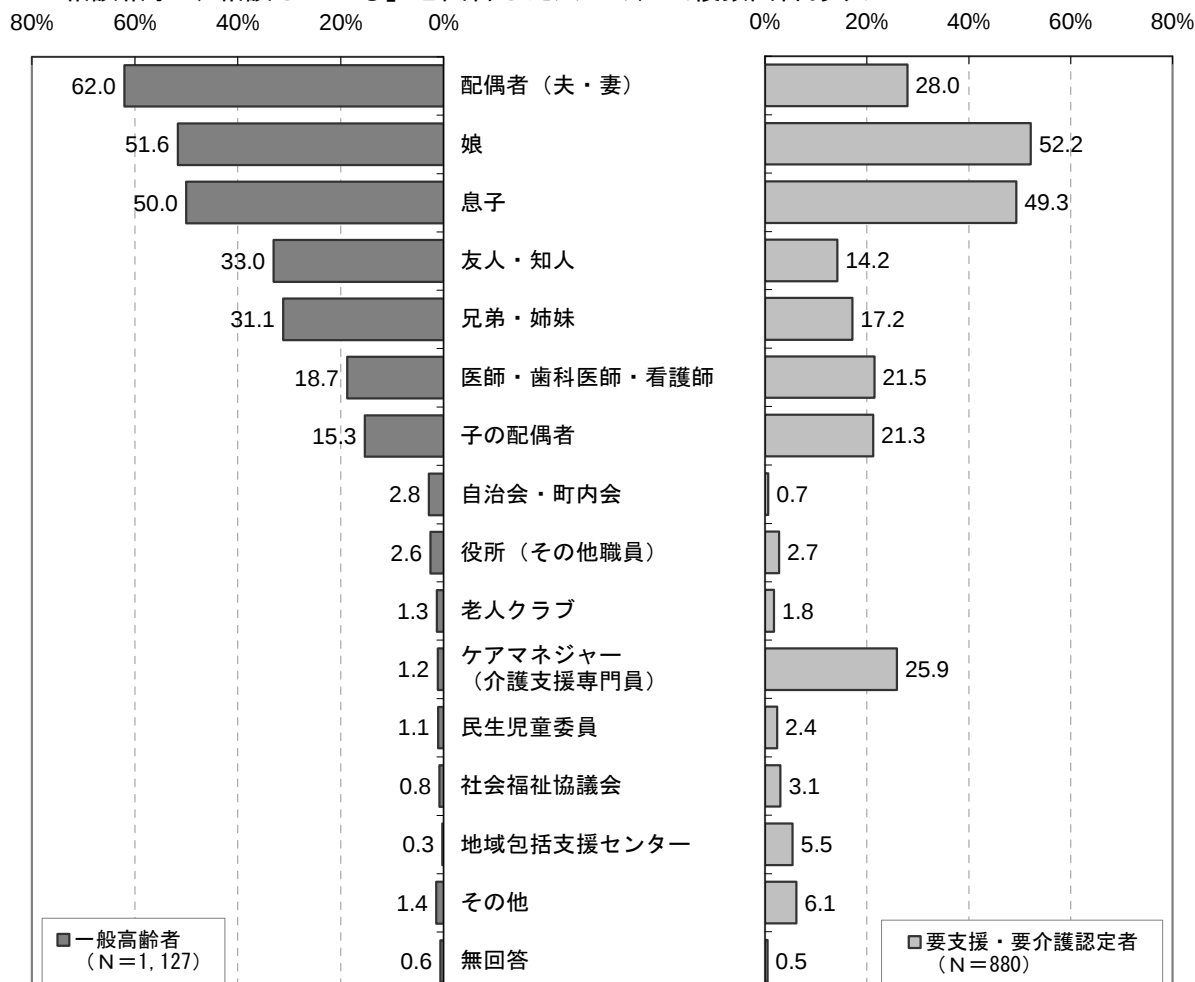
■ 相談の有無



何かあったときに相談していると回答した人に、その相談相手をたずねると、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「配偶者（夫・妻）」、「娘」、「息子」など、身近な人に相談する人が多くなっています。

要支援・要介護認定者では「ケアマネジャー」が3割近くを占めています。

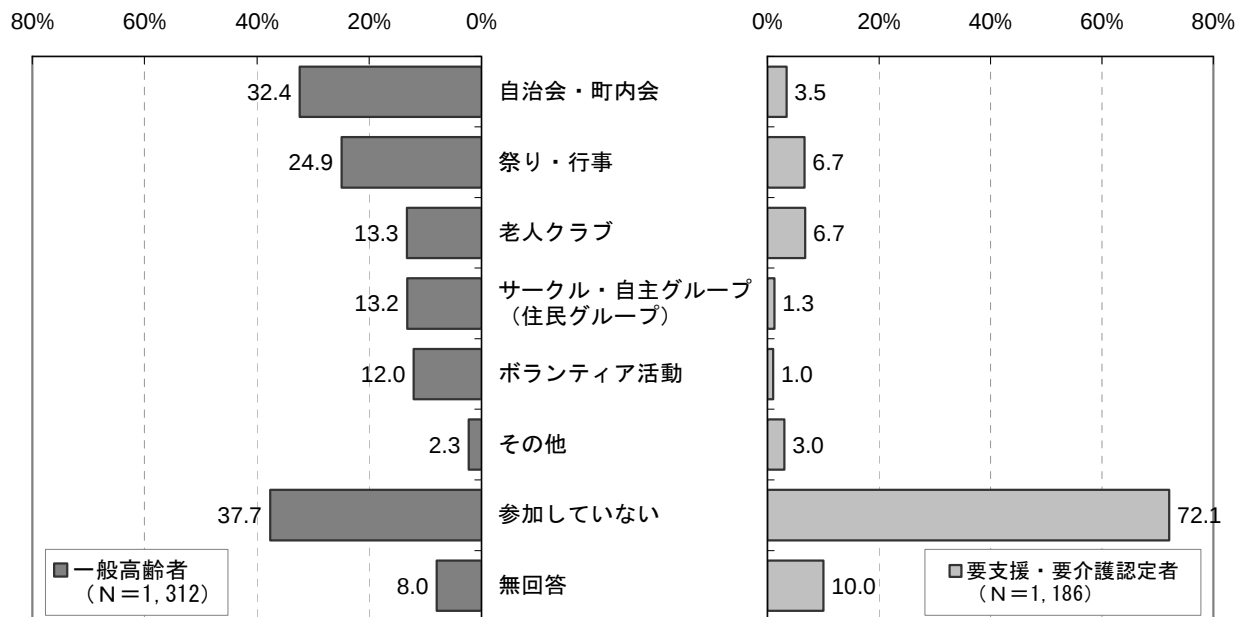
■ 相談相手（「相談している」と回答した人のみ）＜複数回答あり＞



③ 地域活動への参加状況

地域活動への参加状況については、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「参加していない」が最も多くなっています。参加している活動では、一般高齢者では「自治会・町内会」が最も多く、次いで「祭り・行事」となっています。

■ 地域活動の参加状況＜複数回答あり＞

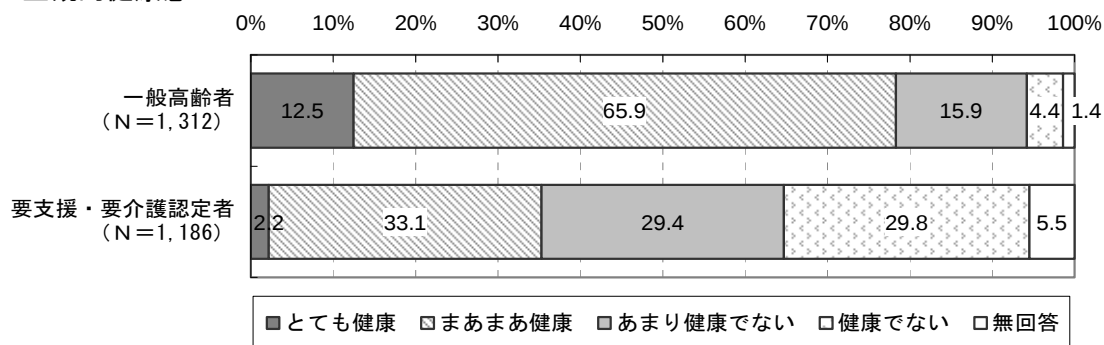


(8) 健康について

① 主観的健康感

普段における自身の健康については、要支援・要介護認定者では「あまり健康でない」、「健康でない」が6割近くを占めています。

■ 主観的健康感

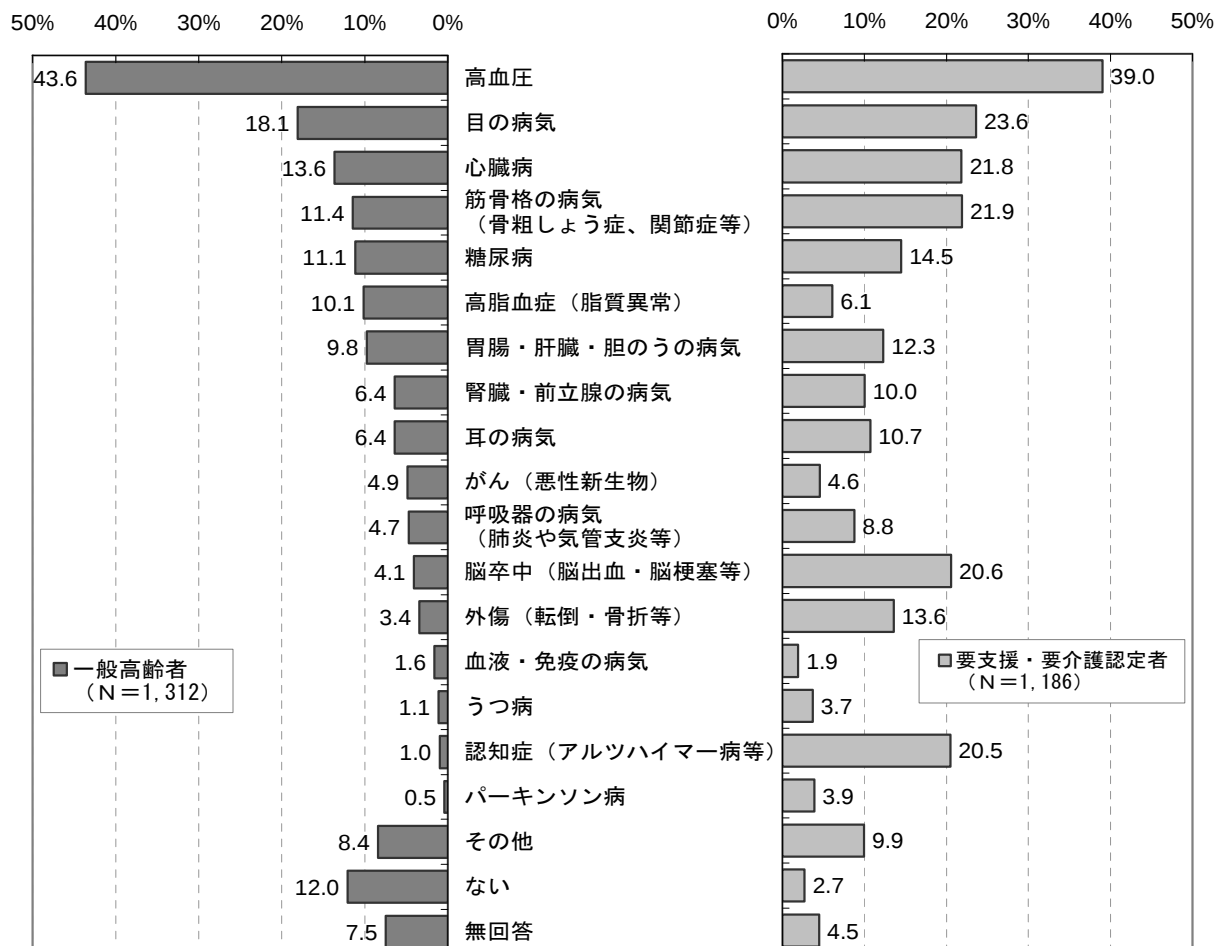


② 治療中又は後遺症のある病気

現在、治療中又は後遺症のある病気については、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「高血圧」が最も多くなっています。

要支援・要介護認定者では、「認知症」が2割を超えています。

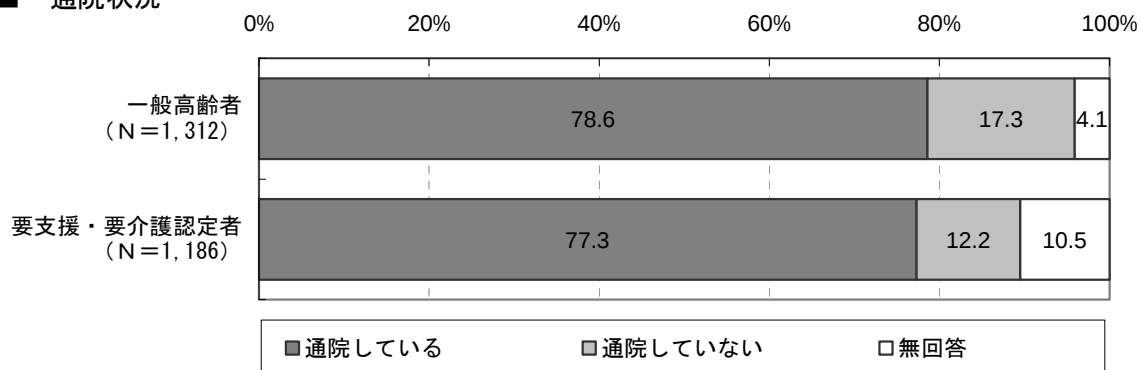
■ 治療中又は後遺症のある病気＜複数回答あり＞



③ 通院状況

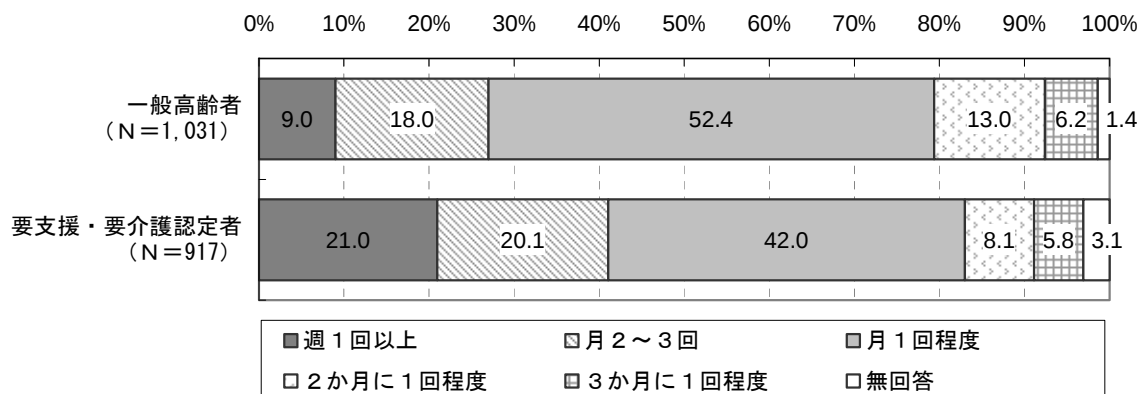
通院状況については、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「通院している」が8割近くを占めています。

■ 通院状況



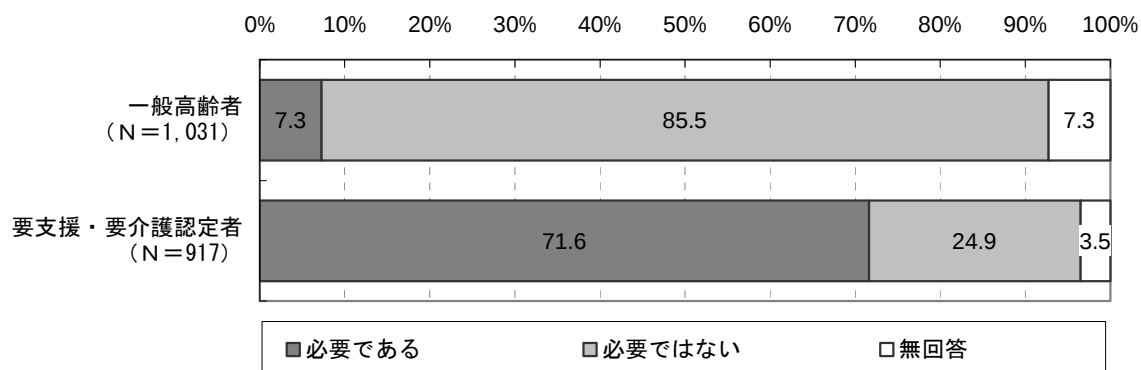
通院していると回答した人に、その頻度をたずねると、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに月1回以上通院している人が8割程度を占めています。

■ 通院頻度（「通院している」と回答した人のみ）



通院していると回答した人に、付き添いの必要性をたずねると、要支援・要介護認定者では「必要である」が大半を占めています。

■ 付き添いの必要性（「通院している」と回答した人のみ）



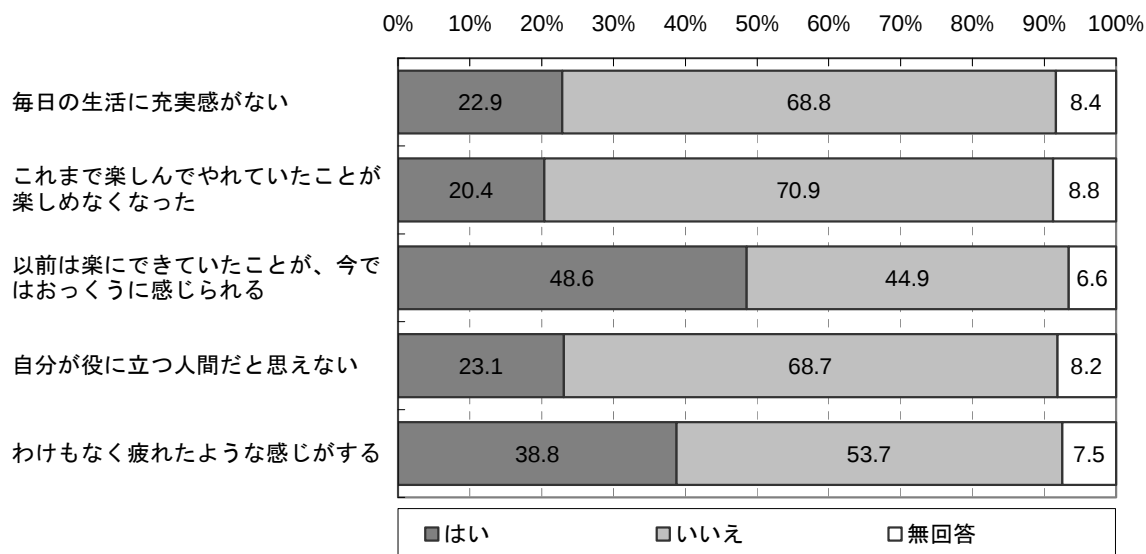
④ 心や身体の状態

ここ2週間の心や身体の状態については、一般高齢者では、ほとんどの項目で「いいえ」が「はい」を上回っています。

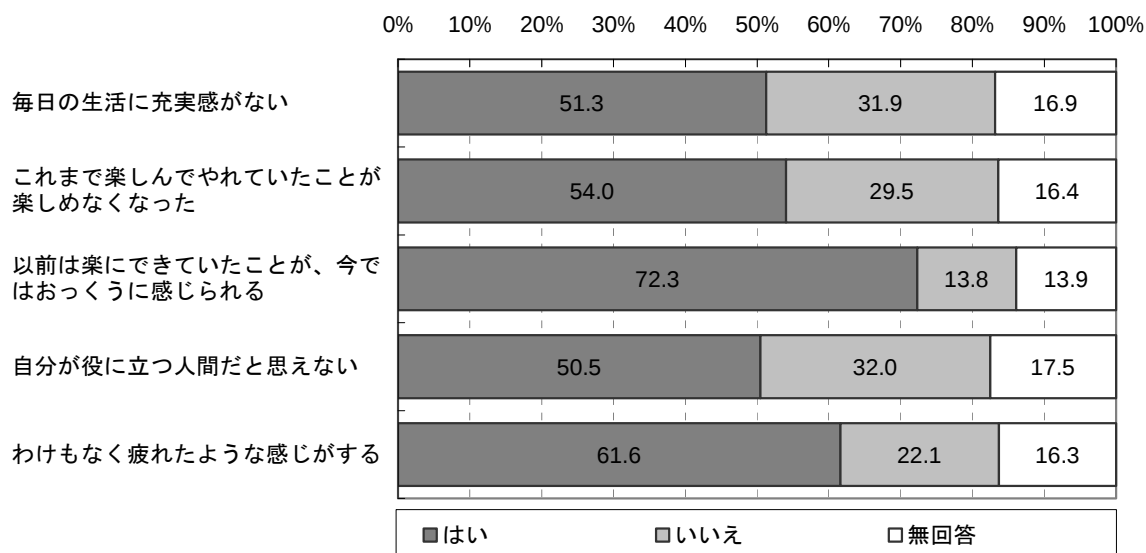
一方、要支援・要介護認定者では、全ての項目で「はい」が過半数を占めるなど、心身の低下が見られる結果となっています。

■ 心や身体の状態

□ 一般高齢者（N=1,312）



□ 要支援・要介護認定者（N=1,186）

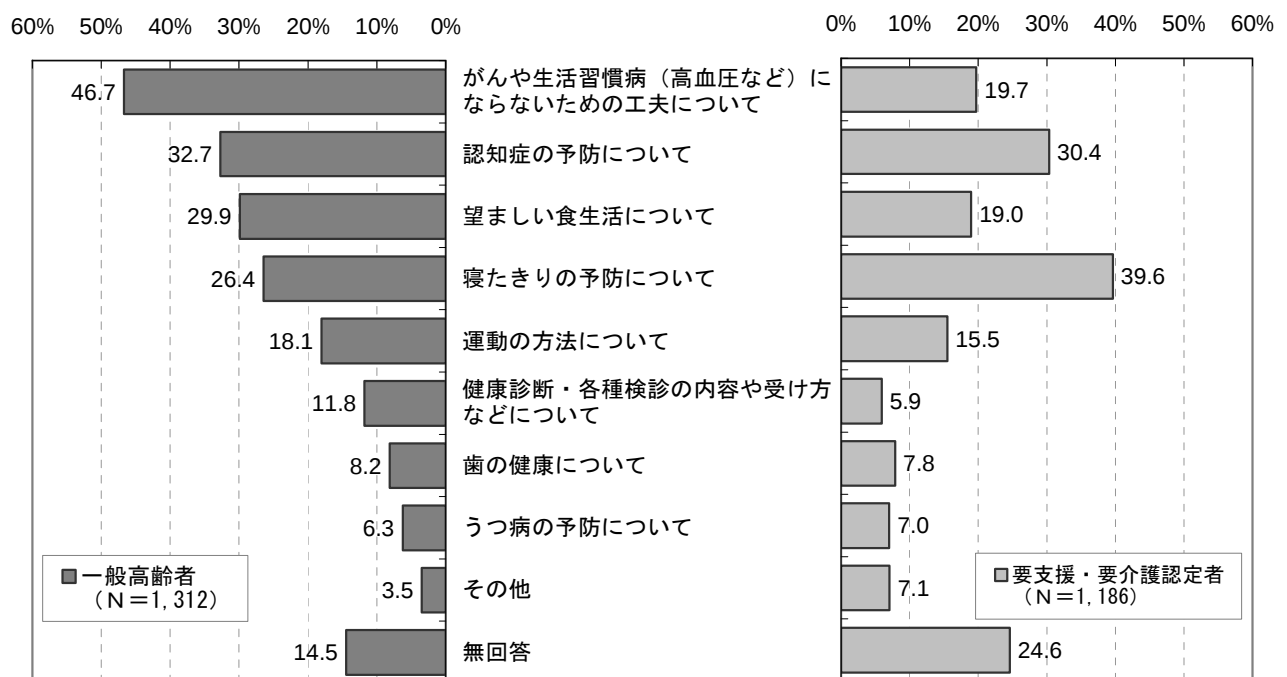


⑤ 健康について知りたいこと

健康に関する知りたいことについては、一般高齢者では「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が最も多く、次いで「認知症予防について」などとなっています。

一方、要支援・要介護認定者では「寝たきりの予防について」が最も多く、次いで「認知症予防について」となっており、認知症の予防への関心が高い結果となっています。

■ 健康について知りたいこと＜複数回答あり＞

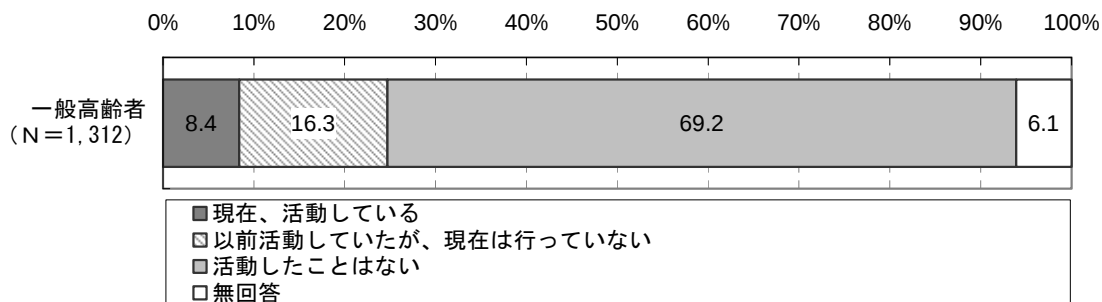


(9) ボランティア活動について（一般高齢者のみ）

① ボランティア活動

ボランティア活動の経験については、「活動したことはない」が7割近くを占めています。

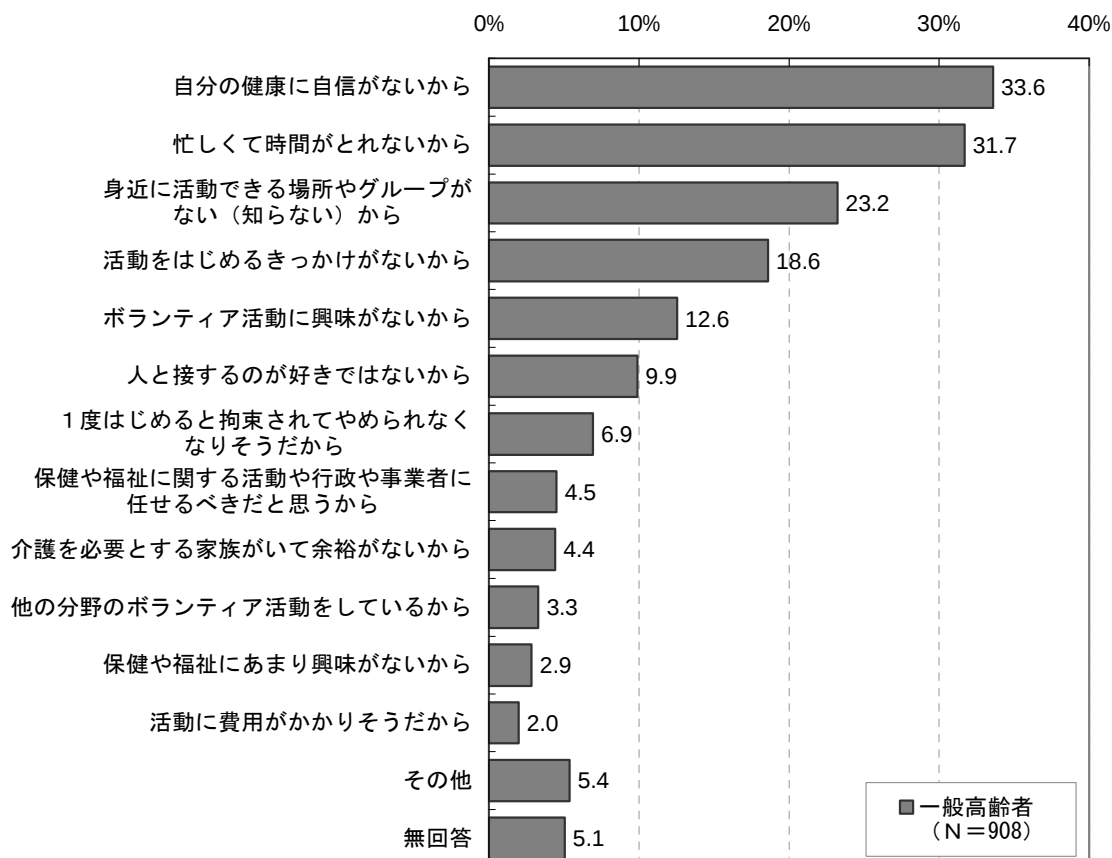
■ ボランティア活動の経験



活動したことはないと回答した人に、その理由をたずねると、「自分の健康に自信がないから」が最も多く、次いで「忙しくて時間がとれないから」となっています。

■ ボランティア活動に参加したことがない理由（「活動したことはない」と回答した人のみ）

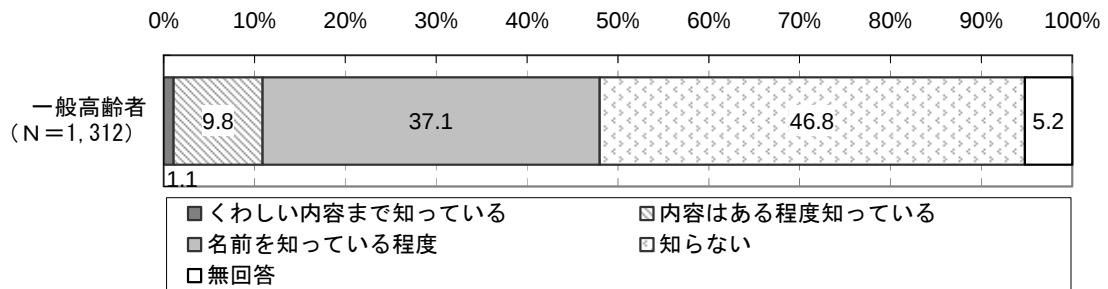
<複数回答あり>



② 介護支援ボランティア制度

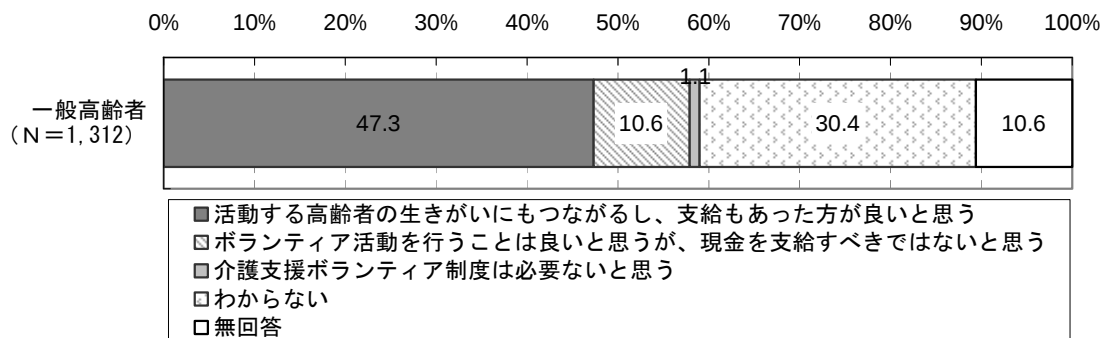
介護支援ボランティア制度については、「知らない」が最も多く、次いで「名前を知っている程度」が4割近くを占めています。

■ 介護支援ボランティア制度の認知度



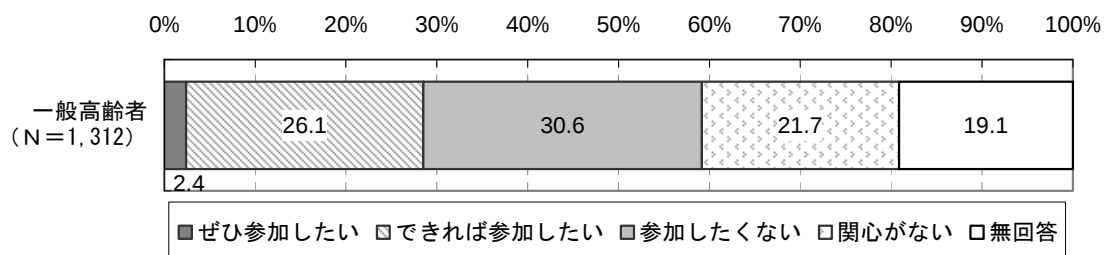
現金が支給されることについては、「活動する高齢者の生きがいにもつながるし、支給もあった方が良くと思う」が最も多くなっています。

■ 現金が支給されることに対する考え



制度を導入した場合の参加意向については、「ぜひ参加したい」、「できれば参加したい」が3割近くとなっています。

■ 介護支援ボランティア制度を導入した場合の参加意向

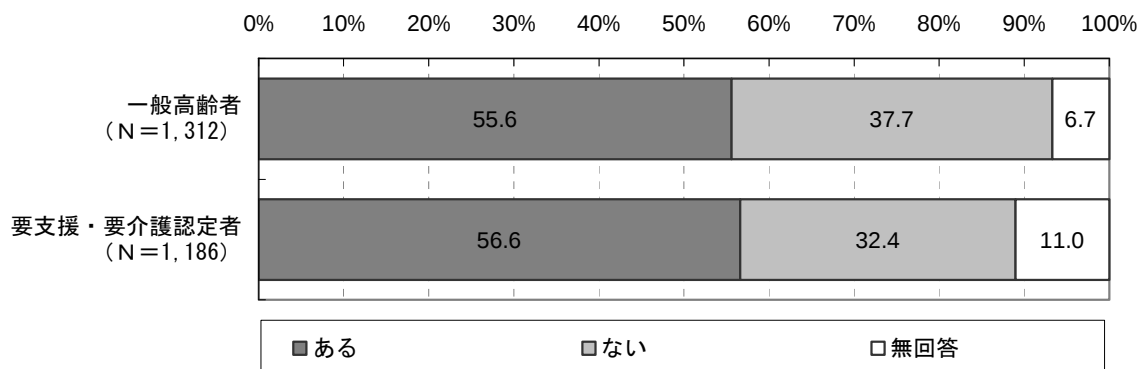


(10) 認知症について

① 身近なところでの認知症

周りで認知症でお困りの方を見かけたり、話を聞いたりしたことについては、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「ある」が過半数を占めています。

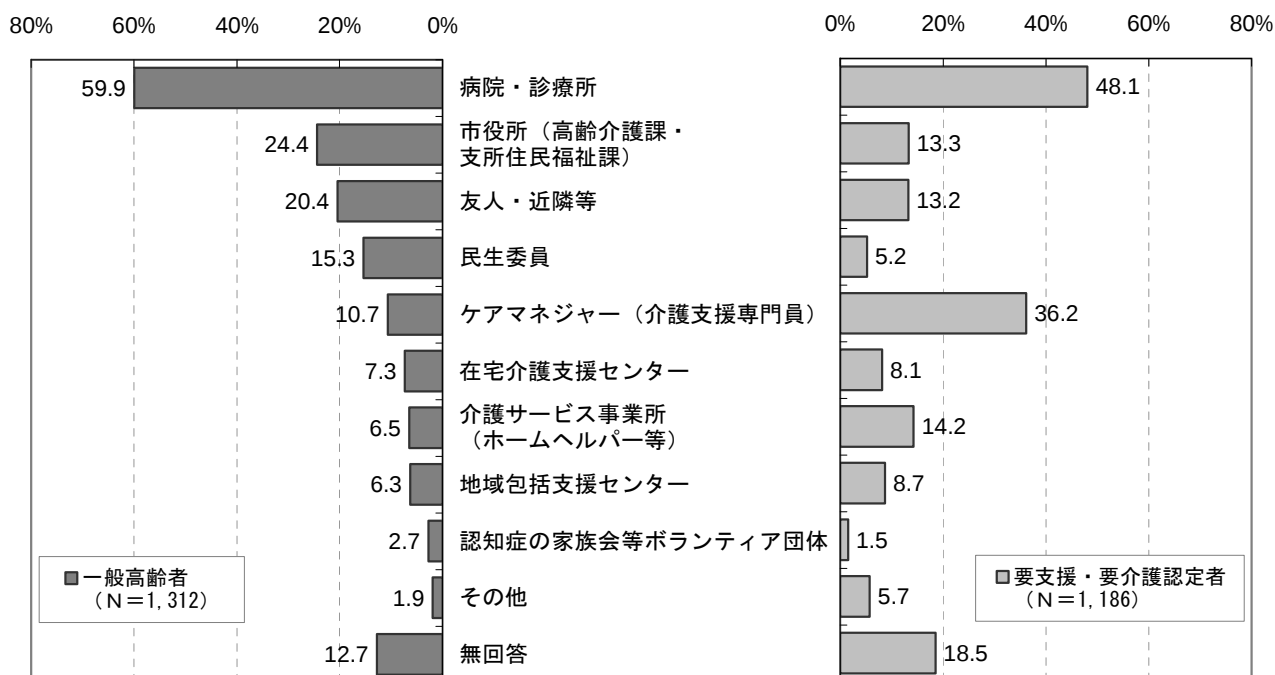
■ 認知症でお困りの方の見聞度



身近な人に認知症の疑いがあるときの相談相手については、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「病院・診療所」が最も多くなっています。

要支援・要介護認定者では「ケアマネジャー」が4割近くを占めています。

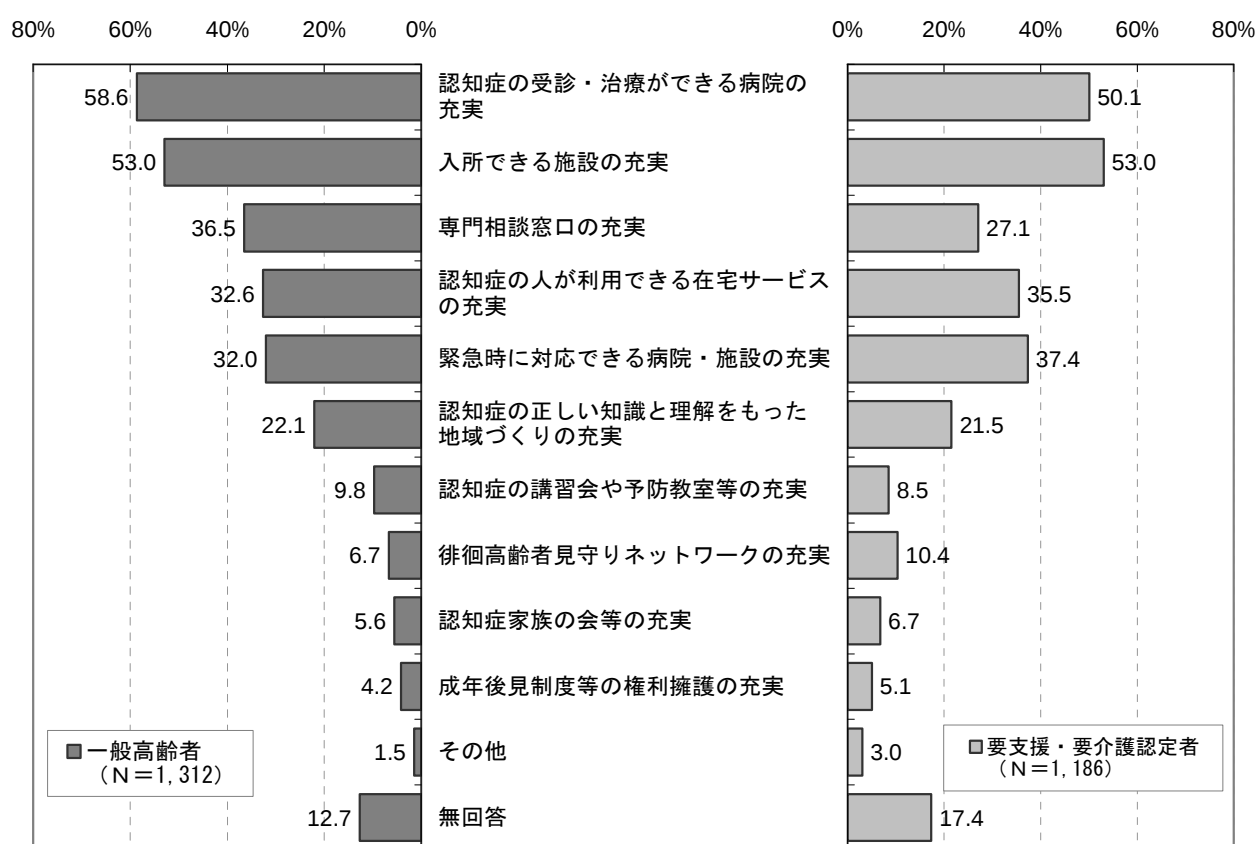
■ 身近な人に認知症の疑いがある時の相談相手＜複数回答あり＞



② 安心して暮らしていくための施策

認知症になっても安心して暮らしていくために充実してほしいことについては、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「認知症の受診・治療ができる病院の充実」、「入所できる施設の充実」の回答が多く、次いで「専門相談窓口の充実」、「認知症の人が利用できる在宅サービスの充実」、「緊急時に対応できる病院・施設の充実」などとなっており、医療や施設や在宅などのサービス、相談窓口の充実を求める人が多い結果となっています。

■ 認知症になっても安心して暮らしていくために必要な施策＜複数回答あり＞



(11) 高齢者保健福祉について

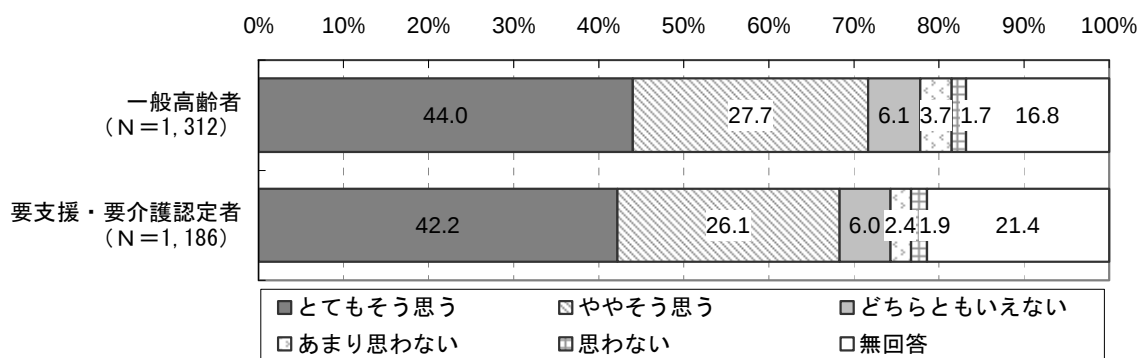
① 心配ごとを気軽に相談できる人

心配ごとを気軽に相談できる人の希望度については、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した人が、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに7割程度となっています。

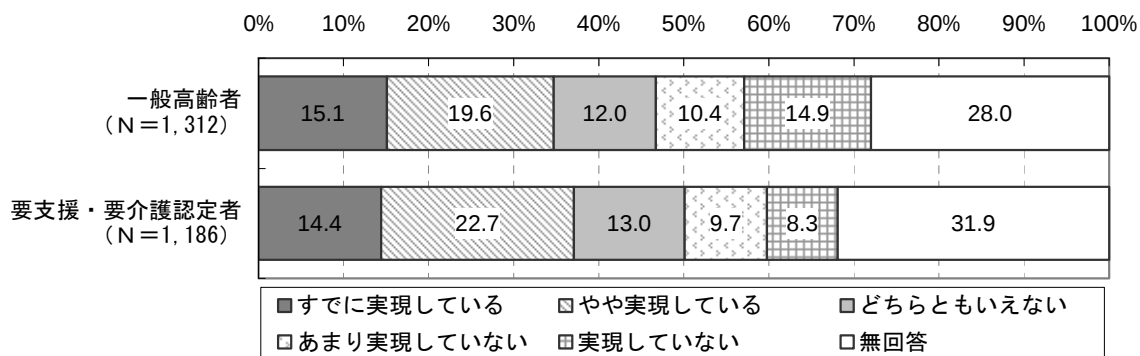
実現度については、「すでに実現している」、「やや実現している」が、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに4割未満となっています。

■ 心配ごとを気軽に相談できる人の希望度・実現度

□ 希望度



□ 実現度



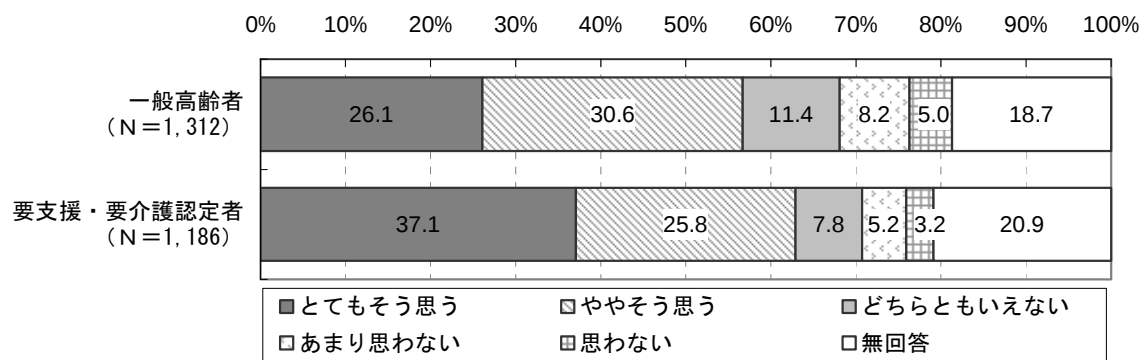
② 日常のささいな困りごとを頼めるサービス

日常のささいな困りごとを頼めるサービスの希望度については、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した人が、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに6割程度となっています。

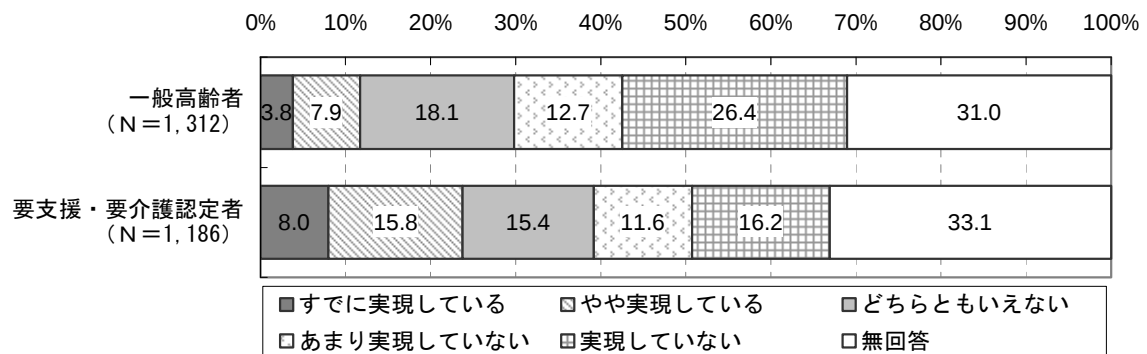
実現度については、「すでに実現している」、「やや実現している」が、一般高齢者では1割程度、要支援・要介護認定者では2割以上となっています。

■ 日常のささいな困りごとを頼めるサービスの希望度・実現度

□ 希望度



□ 実現度



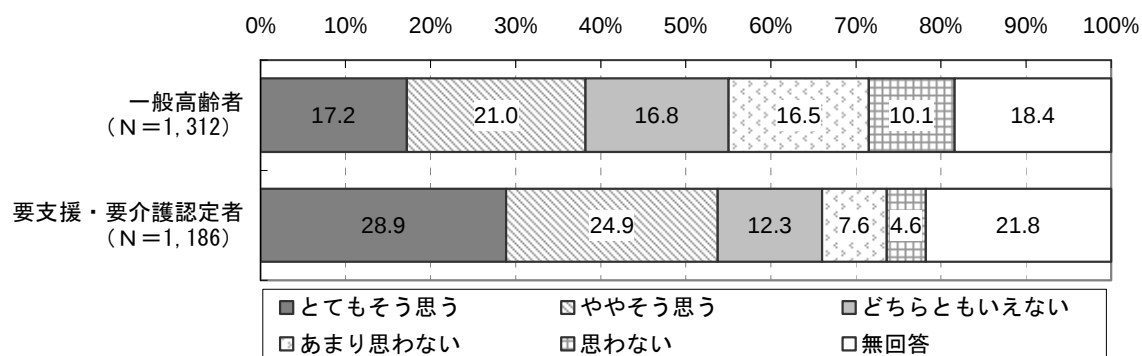
③ 定期的に自宅に来て声をかけてくれる人

定期的に自宅に来て声をかけてくれる人の希望度については、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した人が、一般高齢者では4割近く、要支援・要介護認定者では過半数を占め、一般高齢者に比べ、要支援・要介護認定者の希望が高い結果となっています。

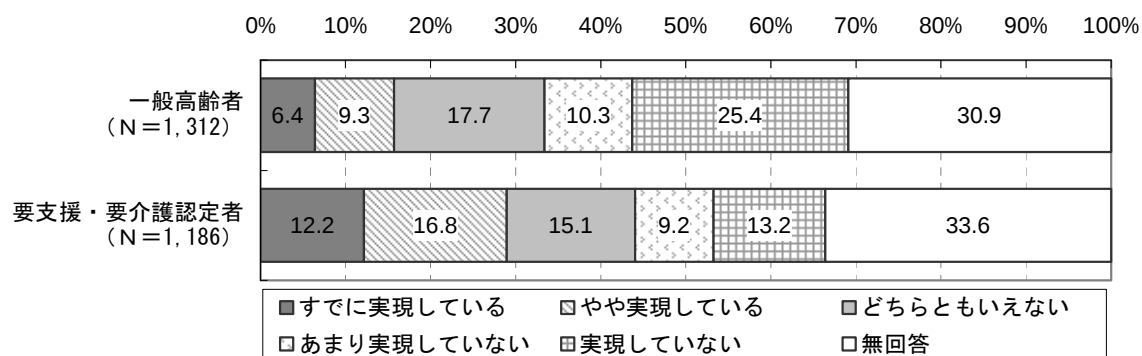
実現度については、「すでに実現している」、「やや実現している」が、一般高齢者では2割未満、要支援・要介護認定者では3割程度となっています。

■ 定期的に自宅に来て声をかけてくれる人の希望度・実現度

□ 希望度



□ 実現度



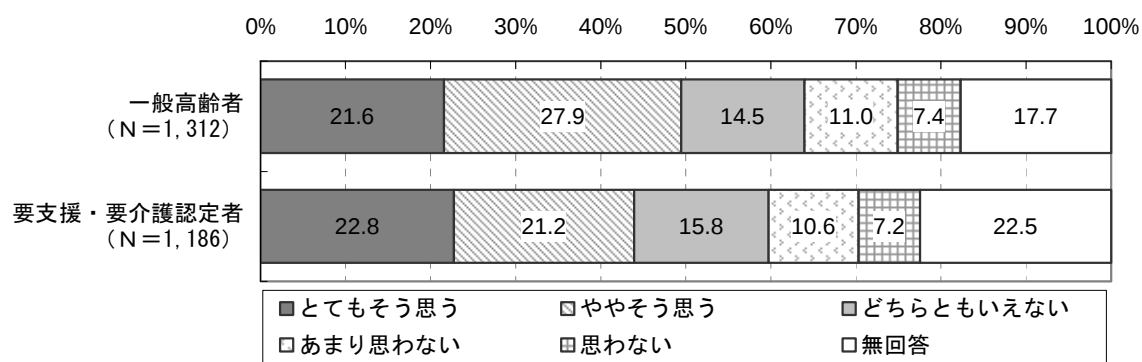
④ いつでも集まって人と話ができる場所

いつでも集まって人と話ができる場所の希望度については、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した人が、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに5割近くを占めています。

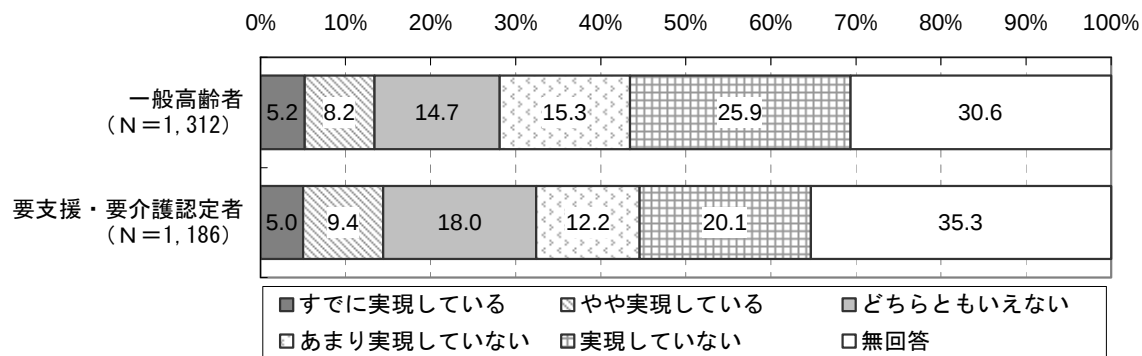
実現度については、「すでに実現している」、「やや実現している」が、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに2割未満となっています。

■ いつでも集まって人と話ができる場所の希望度・実現度

□ 希望度



□ 実現度



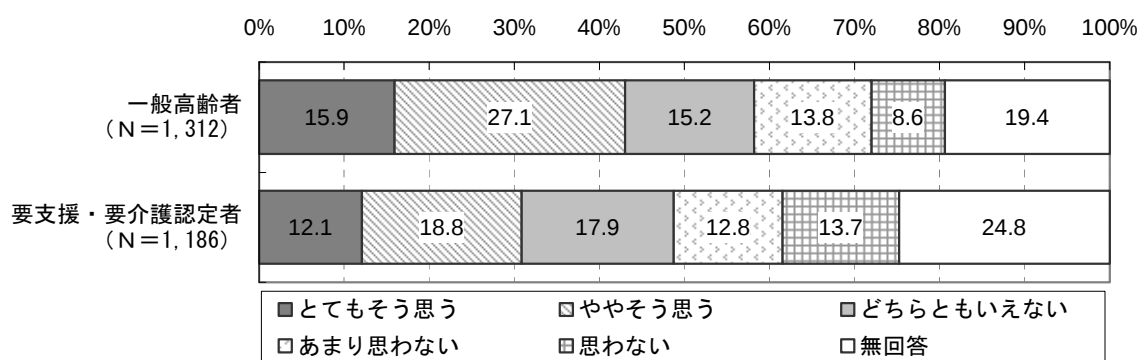
⑤ 日常的に参加できる教室や講座

日常的に参加できる教室や講座の希望度については、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した人が、一般高齢者では4割を超え、要支援・要介護認定者に比べて高い希望度となっています。

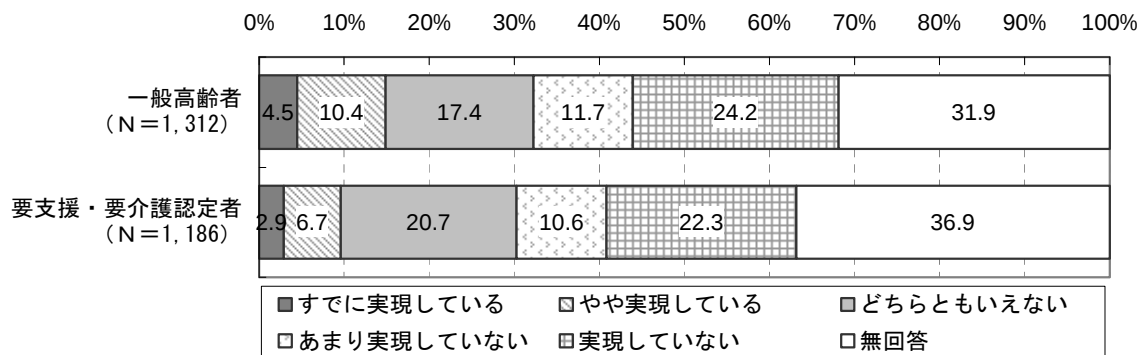
実現度については、「すでに実現している」、「やや実現している」が、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに1割程度となっています。

■ 日常的に参加できる教室や講座の希望度・実現度

□ 希望度



□ 実現度



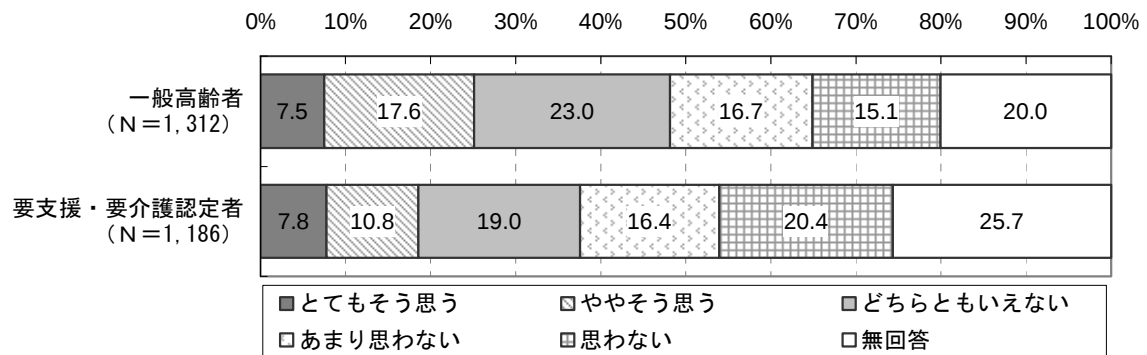
⑥ 地域や社会で自分の力を発揮できる機会

地域や社会で自分の力を発揮できる機会の希望度については、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した人が、一般高齢者では3割近くを占め、要支援・要介護認定者に比べて高い希望度となっています。

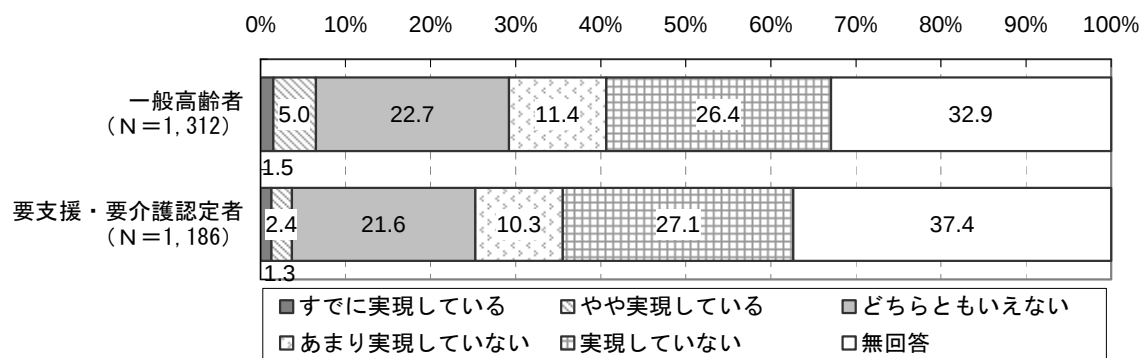
実現度については、「すでに実現している」、「やや実現している」が、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに1割未満となっています。

■ 地域や社会で自分の力を発揮できる機会の希望度・実現度

□ 希望度



□ 実現度



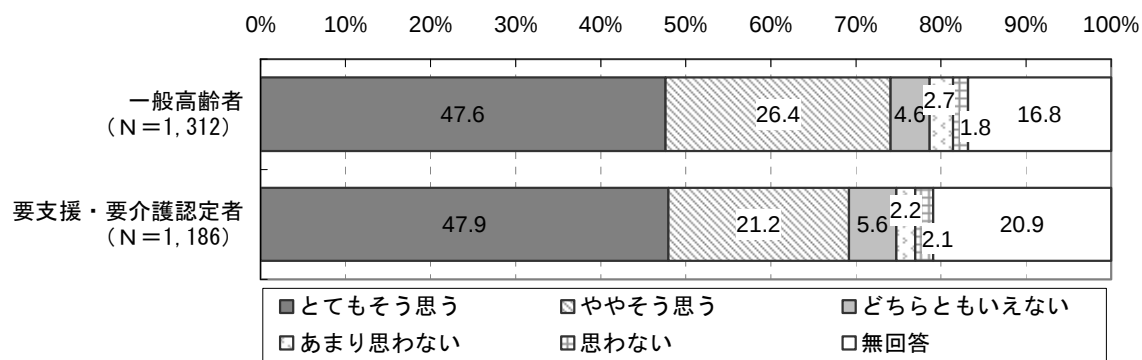
⑦ 災害時に安否確認や手助けをしてくれる人や仕組み

災害時に自分の安否確認や手助けをしてくれる人や仕組みの希望度については、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した人が、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに7割程度を占めており、高い希望度となっています。

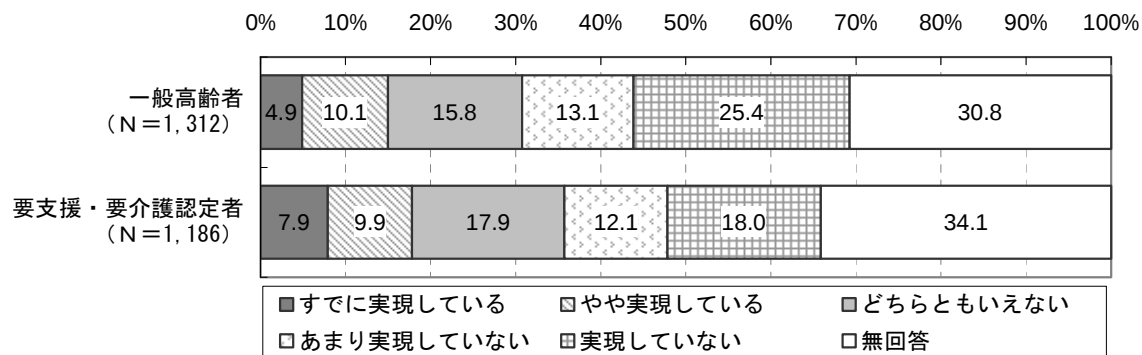
実現度については、「すでに実現している」、「やや実現している」が、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに2割未満となっています。

■ 災害時に安否確認や手助けをしてくれる人や仕組みの希望度・実現度

□ 希望度



□ 実現度



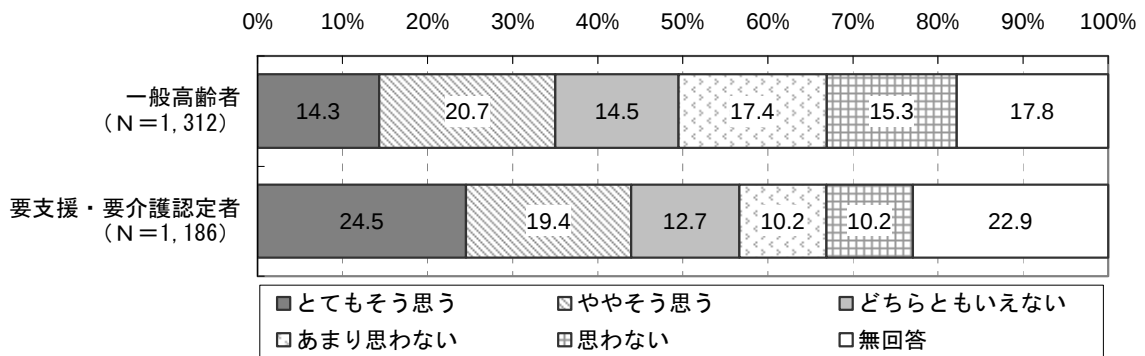
⑧ 日常の買い物を頼めるサービス

日常の買い物を頼めるサービスの希望度については、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した人が、要支援・要介護認定者では4割を超え、一般高齢者に比べて高い希望度となっています。

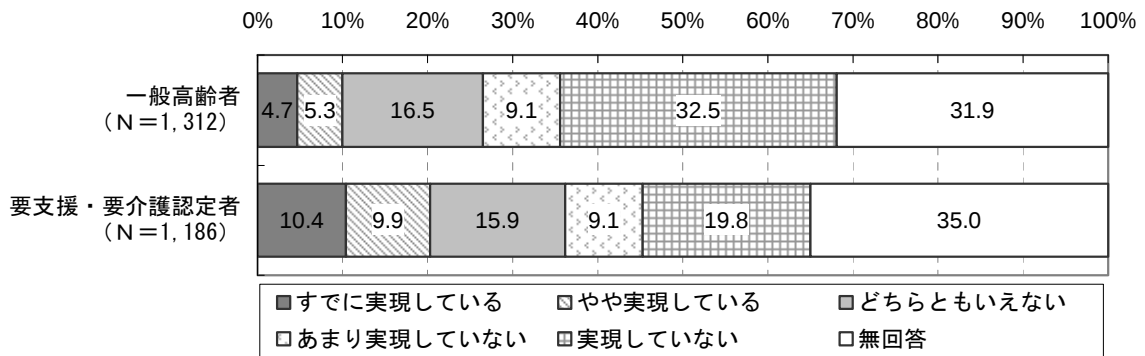
実現度については、「すでに実現している」、「やや実現している」が、一般高齢者では1割、要支援・要介護認定者では2割程度となっています。

■ 日常の買い物を頼めるサービスの希望度・実現度

□ 希望度



□ 実現度



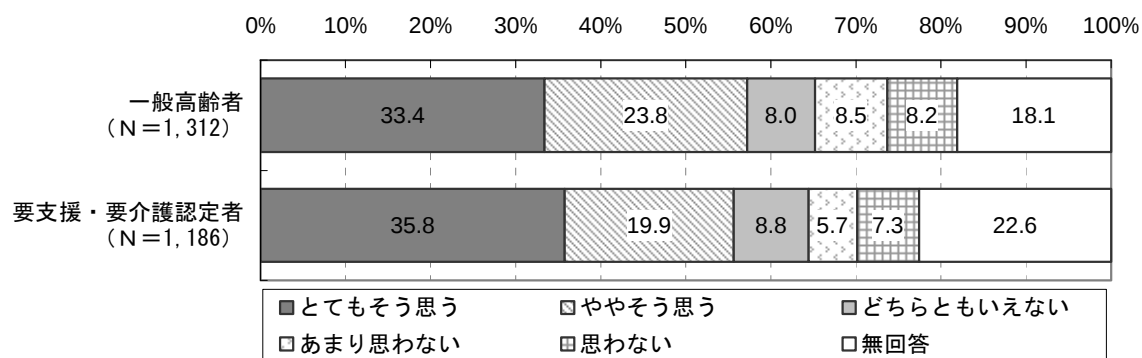
⑨ 外出の際に気軽に使える交通手段

外出の際に気軽に使える交通手段の希望度については、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した人が、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに過半数を占めています。

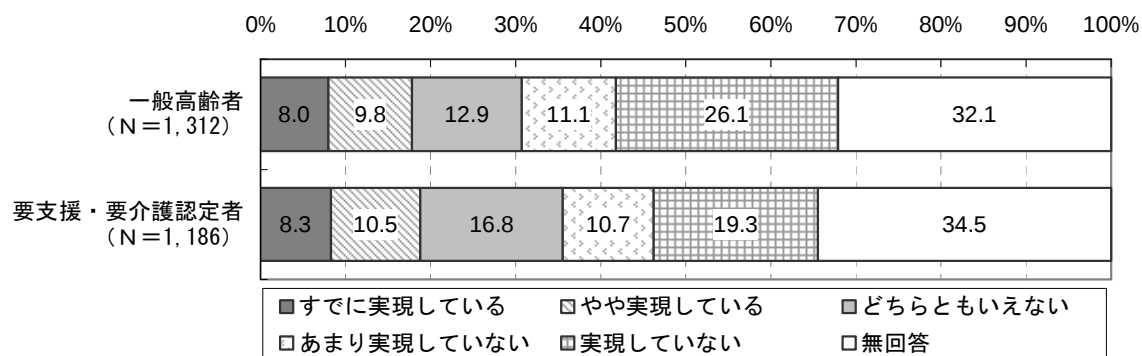
実現度については、「すでに実現している」、「やや実現している」が、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに2割近くとなっています。

■ 外出の際に気軽に使える交通手段の希望度・実現度

□ 希望度



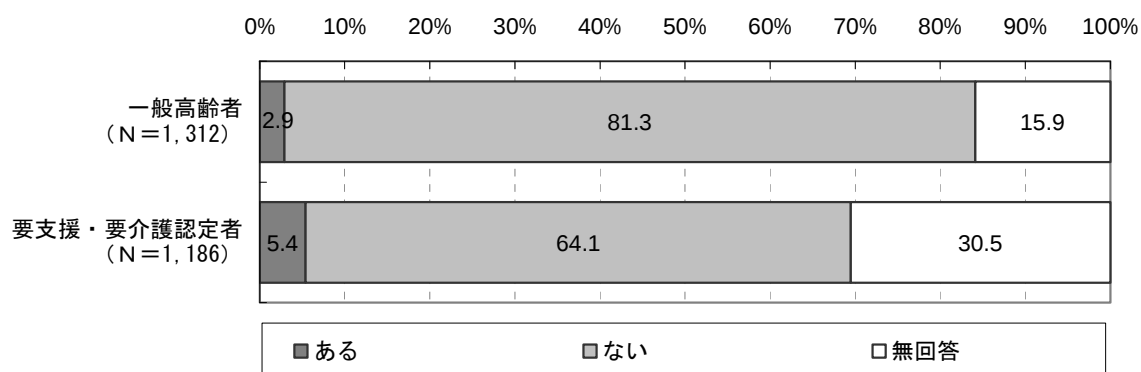
□ 実現度



⑩ 家族や知人に頼めない困りごと

家族や知人に相談したり頼んだりできない困りごとについては、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「ない」が大半を占めています。

■ 家族や知人に頼めない困りごとの有無



家族や知人に頼めない困りごとがあると回答した人に、その内容をたずねると、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「金銭面の相談、援助」、「相続に関する相談、管理」、「掃除・除草」、「家の補修」といった共通の困りごとが寄せられています。

■ 家族や知人に頼めない困りごとの主な内容（「ある」と回答した人のみ）

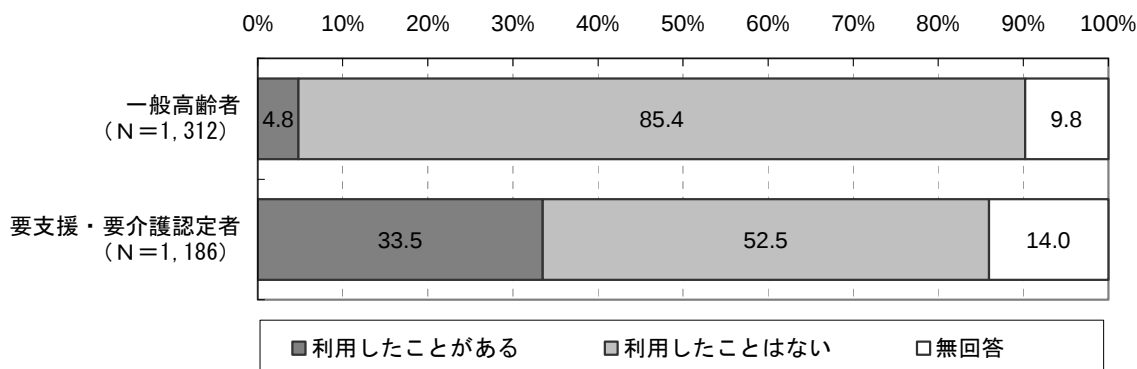
一般高齢者	要支援・要介護認定者
○ゴミ出し ○介護の相談（話し相手） ○親戚・家族関係の相談 ○金銭面の相談、援助 ○相続に関する相談、管理 ○家具の移動 ○掃除、除草 ○庭の手入れ ○家の補修	○介護者の用事（買物や通院などの外出）の間の一時的な介護対応 ○移動手段の確保（介護タクシーなど） ○認知症（物忘れなど）の相談 ○見守り（声かけ） ○話し相手（日中1人が多いため） ○金銭面の相談、援助 ○相続に関する相談、管理 ○掃除、除草 ○家の補修

(12) 地域包括支援センターについて

① 利用状況

地域包括支援センターの利用については、要支援・要介護認定者では「利用したことがある」が3割を超えています。

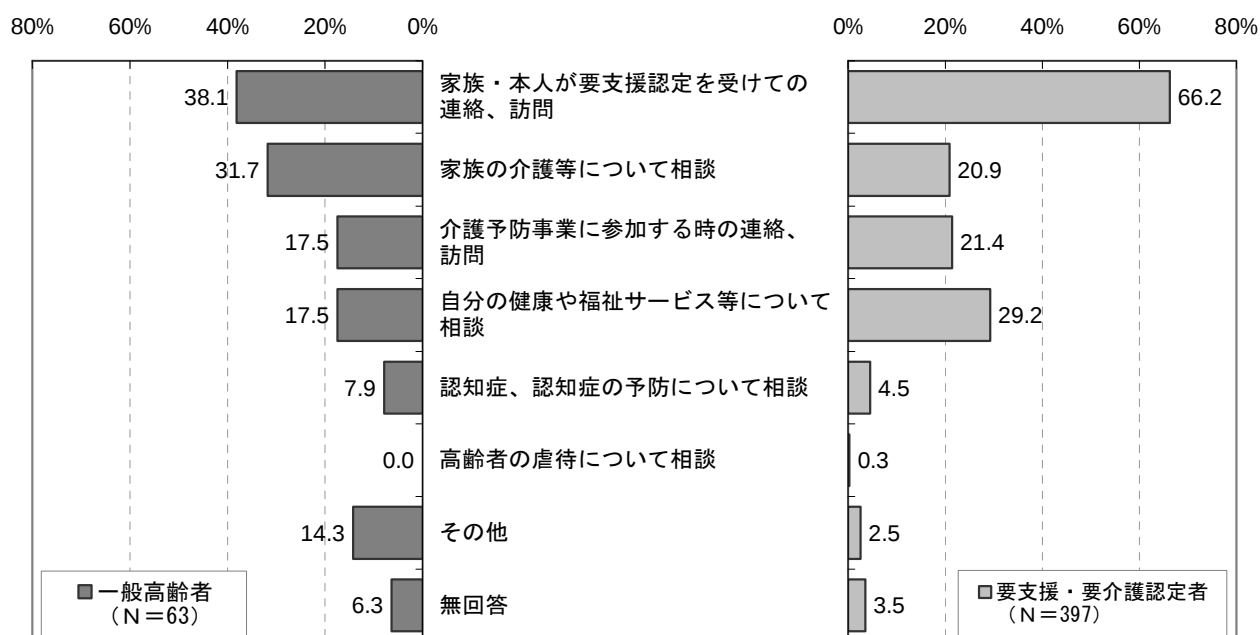
■ 利用状況



地域包括支援センターを利用したことがあると回答した人に、その利用した内容をたずねると、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「家族・本人が要支援認定を受けての連絡、訪問」が最も多くなっています。

次いで、一般高齢者では「家族の介護等について相談」、要支援・要介護認定者では「自分の健康や福祉サービス等について相談」となっています。

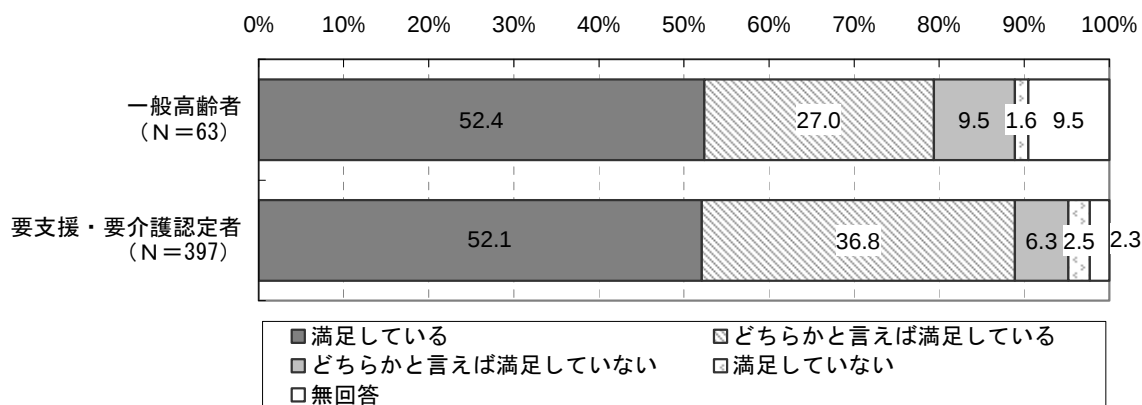
■ 利用した内容（「利用したことがある」と回答した人のみ）＜複数回答あり＞



② 満足度と要望

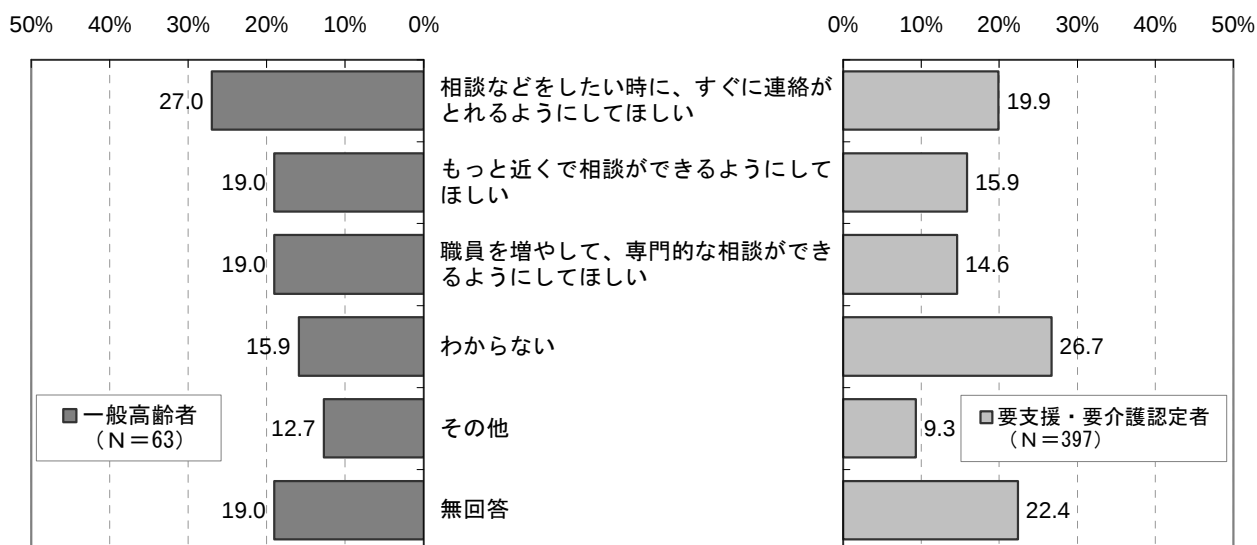
地域包括支援センターを利用したことがあると回答した人に、その満足度をたずねると、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「満足している」、「どちらかと言えば満足している」が大半を占めています。

■ 満足度（「利用したことがある」と回答した人のみ）



地域包括支援センターを利用したことがあると回答した人に、今後の要望をたずねると、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「相談などをしたい時に、すぐに連絡がとれるようにしてほしい」が最も多く、迅速な対応を求める人が多くなっています。

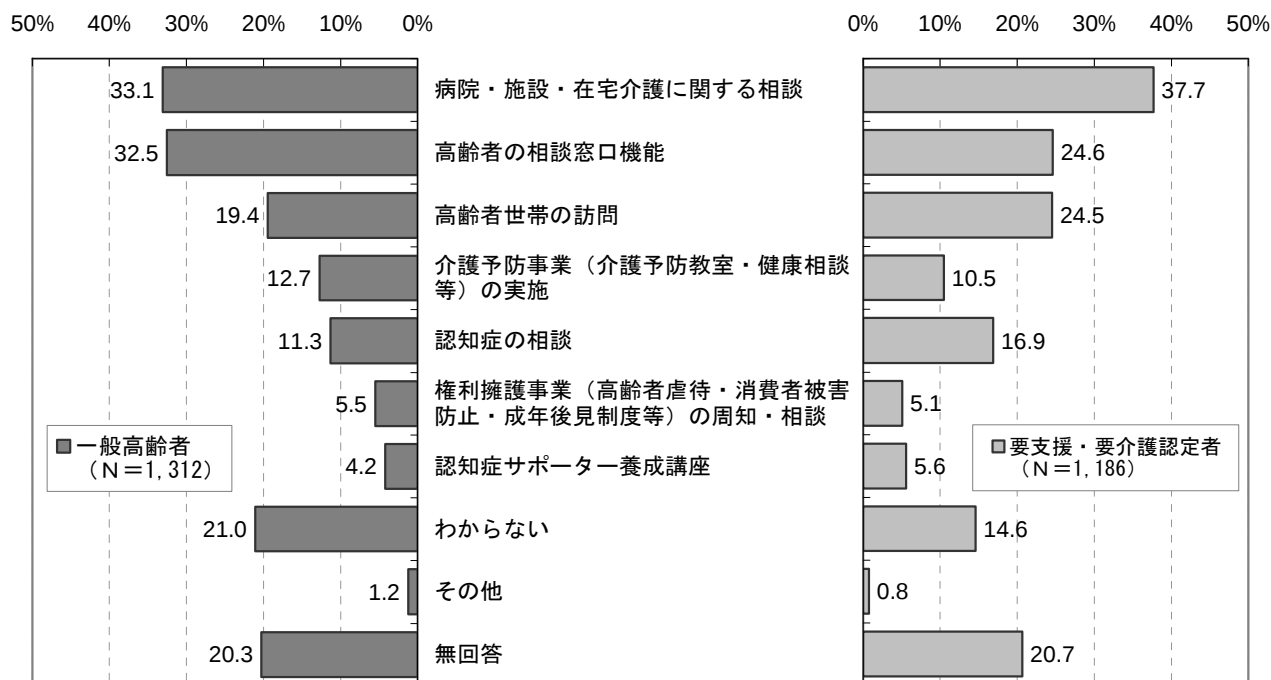
■ 今後の要望（「利用したことがある」と回答した人のみ）＜複数回答あり＞



③ 充実してほしい事業

今後、特に力を入れてほしい事業については、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「病院・施設・在宅介護に関する相談」が最も多く、次いで「高齢者の相談窓口機能」、「高齢者世帯の訪問」となっています。

■ 充実してほしい事業内容＜複数回答あり＞



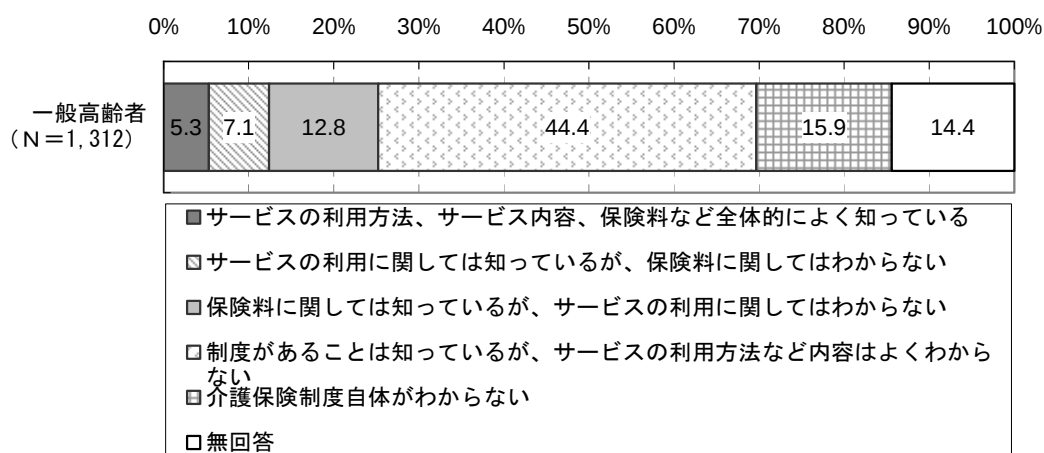
(13) 介護保険制度について

① 制度の認知度（一般高齢者のみ）

介護保険制度については、「介護保険制度自体がわからない」と回答した人が2割近くを占めています。

一方、介護保険制度を知っている人は7割近くを占める結果となっています。

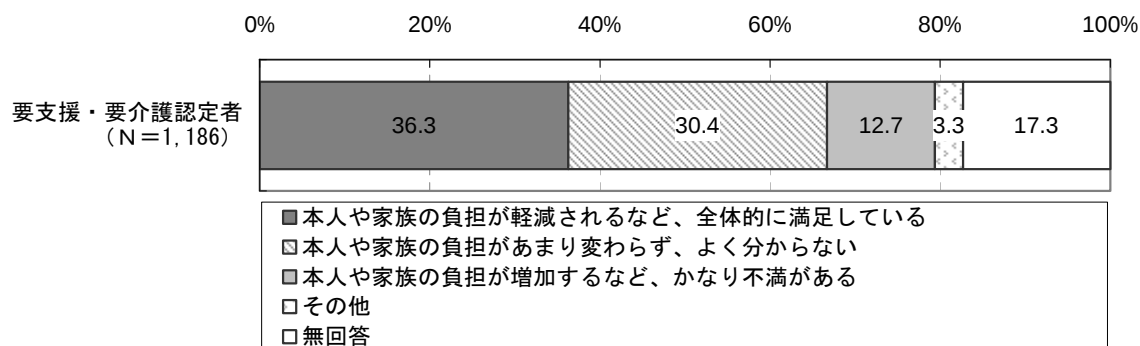
■ 介護保険制度の認知度



② 制度の評価（要支援・要介護認定者のみ）

介護保険に対する評価については、「本人や家族の負担が軽減されるなど、全体的に満足している」が4割近くを占めています。

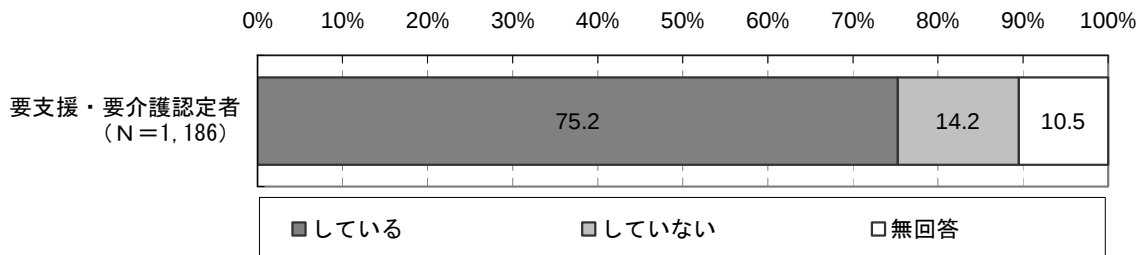
■ 介護保険制度の評価



③ 介護保険サービスの利用状況（要支援・要介護認定者のみ）

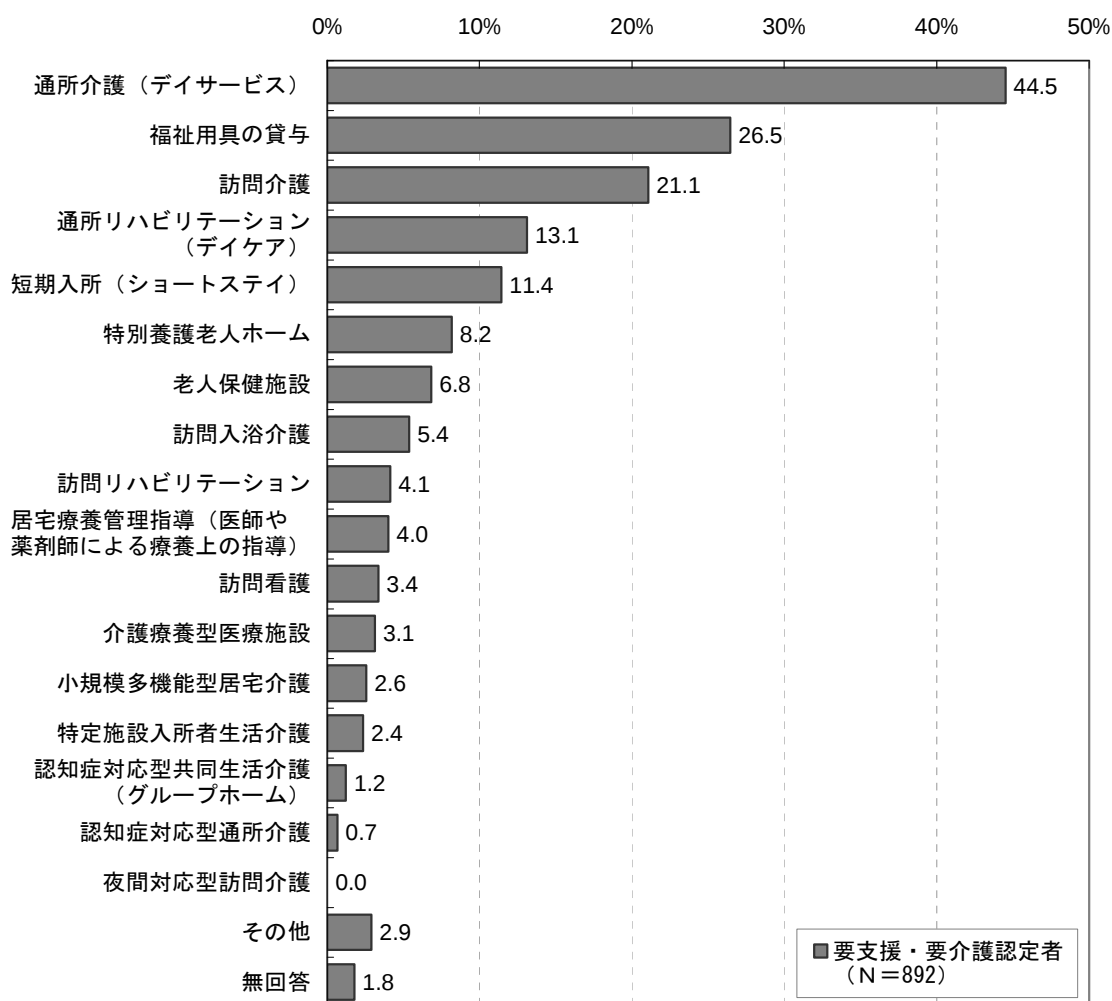
現在、介護保険サービスを利用しているかについては、「している」が大半を占めています。

■ 介護保険サービスの利用状況



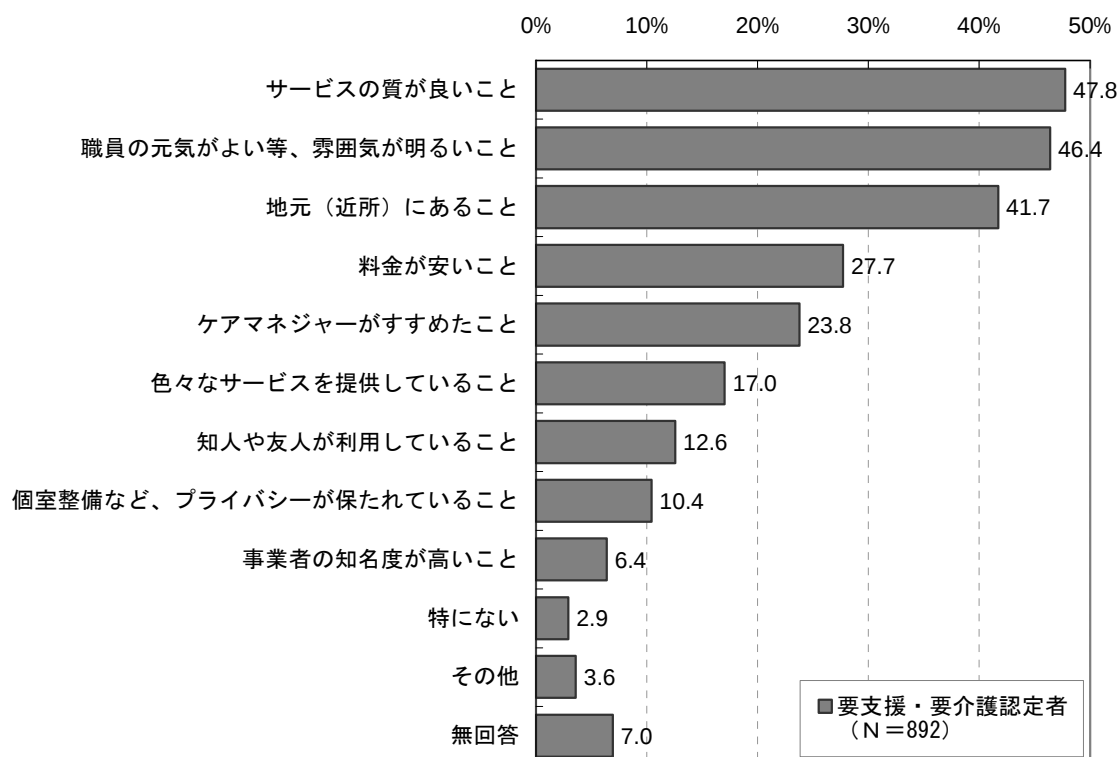
現在、介護保険サービスを利用していると回答した人に、サービスの種類をたずねると、「通所介護」と回答した人が最も多く、次いで「福祉用具の貸与」、「訪問介護」となっています。

■ 利用している介護保険サービス（「している」と回答した人のみ）＜複数回答あり＞



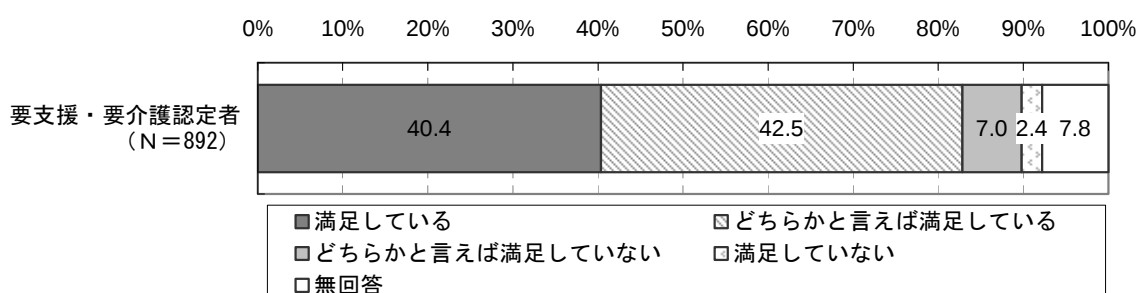
現在、介護保険サービスを利用していると回答した人に、介護保険サービス事業者を選ぶ際に重視することについてたずねると、「サービスの質が良いこと」が最も多く、次いで「職員の元気がよい等、雰囲気が明るいこと」、「地元（近所）にあること」となっています。

■ 事業者を選ぶ際に重視すること（「している」と回答した人のみ）＜複数回答あり＞



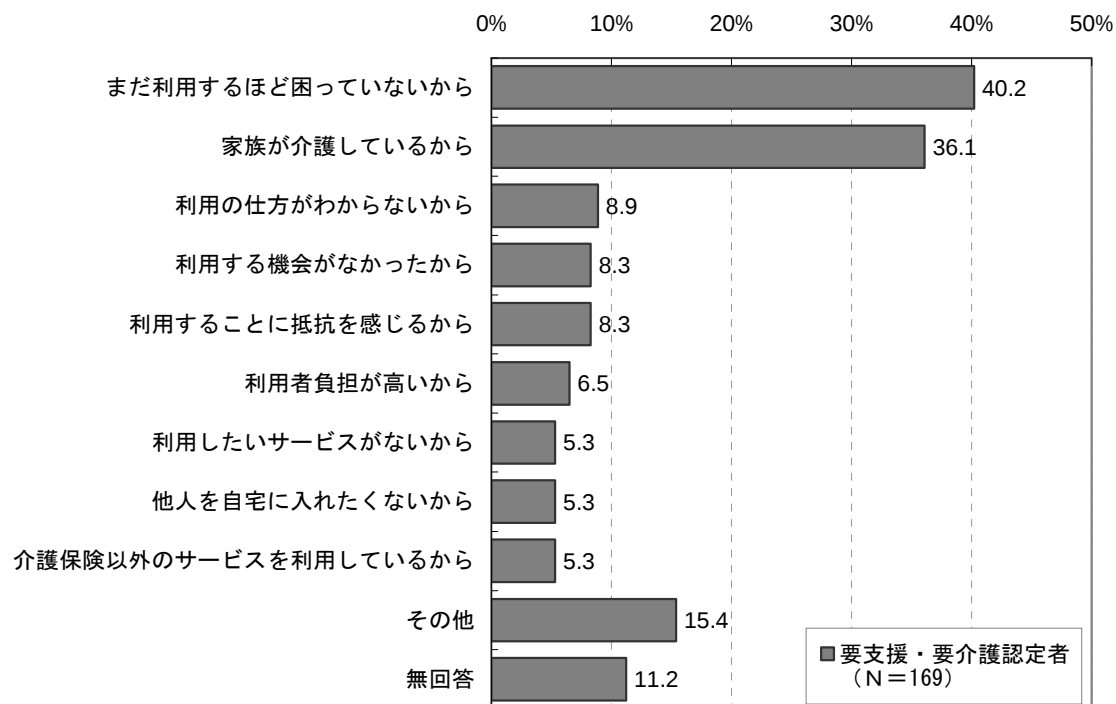
現在、介護保険サービスを利用していると回答した人に、利用している介護保険サービスの満足度についてたずねると、「満足している」、「どちらかと言えば満足している」が8割を超えています。

■ 介護保険サービスの満足度（「している」と回答した人のみ）



現在、介護保険サービスを利用していないと回答した人に、その理由をたずねると、「まだ利用するほど困っていないから」が最も多く、次いで「家族が介護しているから」となっています。

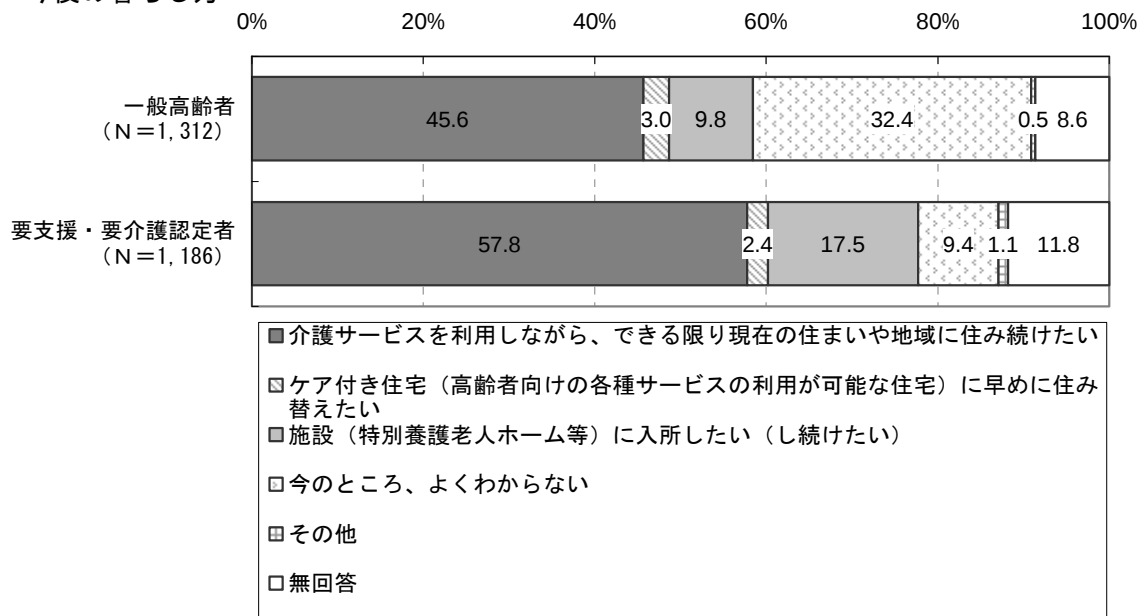
■ 介護保険サービスを利用しない理由（「していない」と回答した人のみ）＜複数回答あり＞



④ 今後の暮らし方に対する考え

今後の暮らし方については、一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「介護サービスを利用しながら、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」が最も多くなっています。

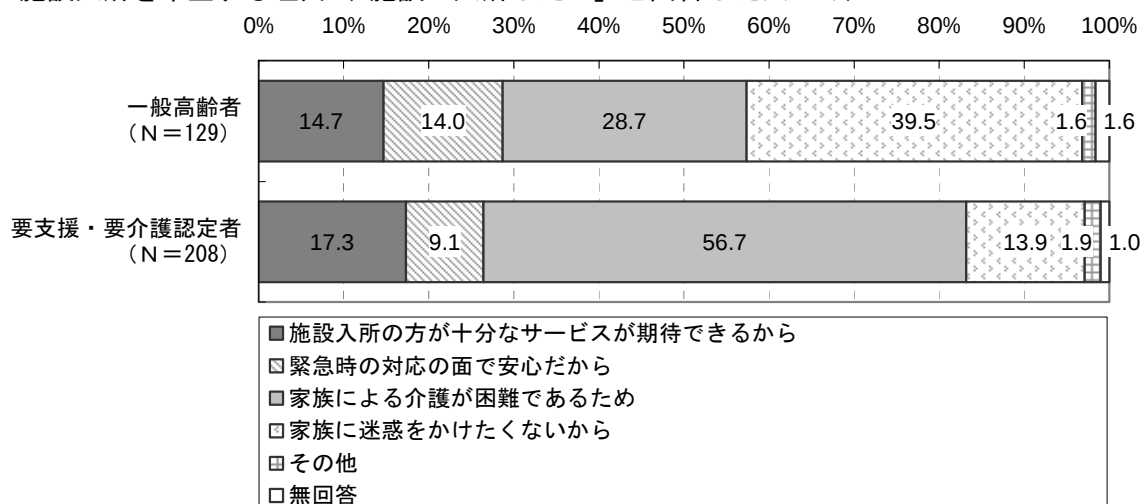
■ 今後の暮らし方



将来の住まいと介護サービスの利用について施設に入所したい(し続けたい)と回答した人に、入所を希望した理由をたずねると、一般高齢者では「家族に迷惑をかけたくないから」が最も多く、次いで「家族による介護が困難であるため」となっています。

一方、要支援・要介護認定者では「家族による介護が困難であるため」が最も多く、次いで「施設入所の方が十分なサービスが期待できるから」となっています。

■ 施設入所を希望する理由（「施設に入所したい」と回答した人のみ）

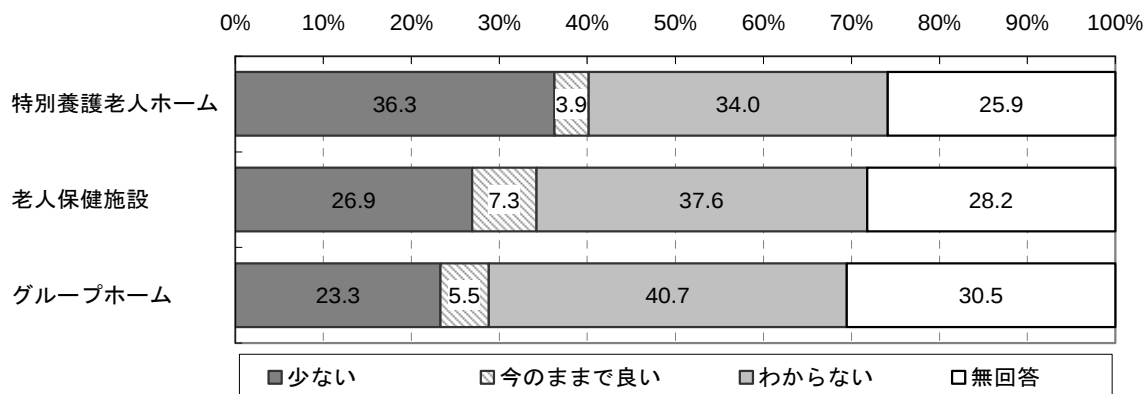


⑤ 施設等の整備状況（要支援・要介護認定者のみ）

施設整備状況については、全ての施設サービスについて、「わからない」が3割以上を占めているものの、「少ない」が「今のままで良い」を大きく上回っています。

特に、特別養護老人ホームでは、4割近くの人が施設整備が不足していると感じているという結果となっています。

■ 施設等の整備状況

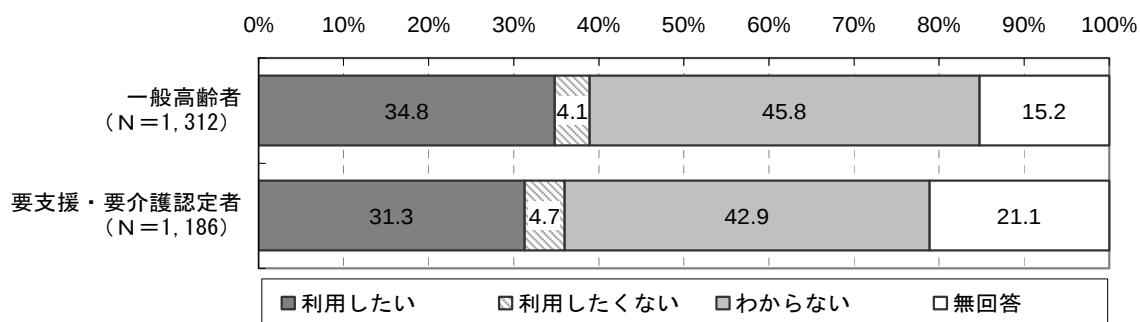


⑥ 新サービスの創設

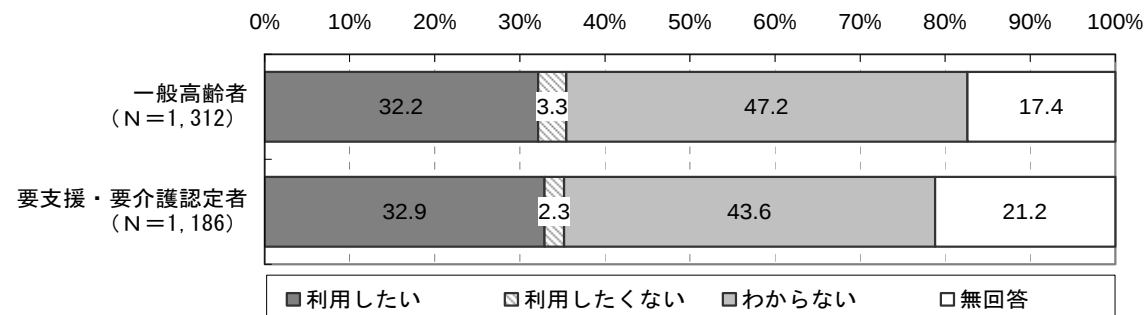
訪問介護と訪問看護を一体的に受けることができる24時間対応の定期巡回・随時対応サービスについては、「利用したい」が3割を超えています。

1つの事業所で2つ以上のサービス（小規模多機能型居宅介護と訪問看護など）を一体的に提供する複合型サービスについても、「利用したい」が3割を超えています。

■ 24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの利用意向



■ 複合型サービスの利用意向

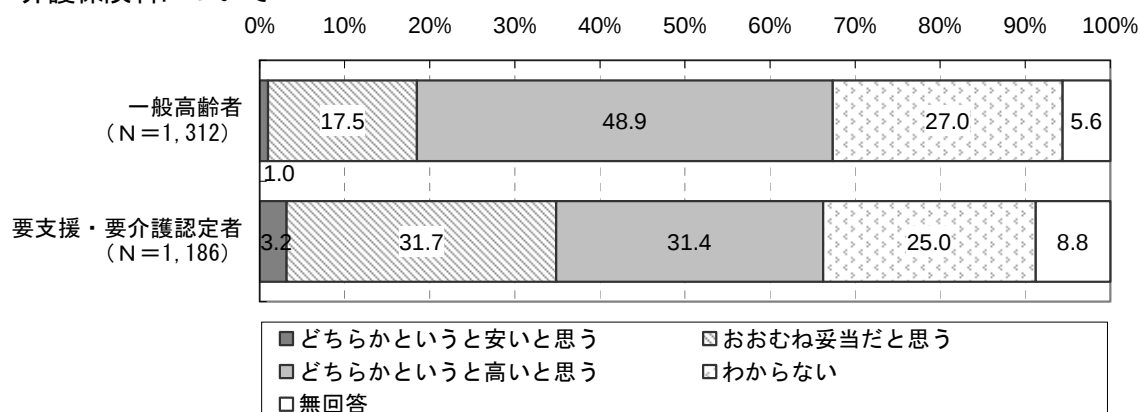


⑦ 介護保険料

介護保険料については、一般高齢者では「どちらかという高いと思う」が最も多くなっています。

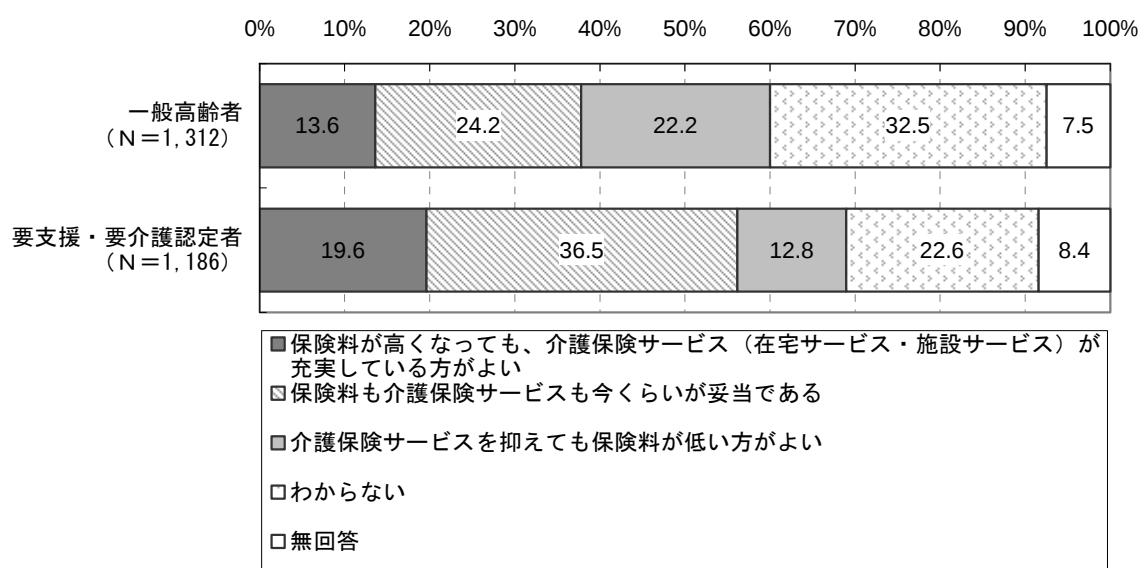
一方、要支援・要介護認定者では「おおむね妥当だと思う」が最も多くなっています。

■ 介護保険料について



介護保険制度は、介護サービスを利用する人が増えたり、1人あたりのサービス利用額が増えたりすると、介護保険料の額が高くなる仕組みになっています。このことを踏まえて、今後の介護保険のあり方については、「保険料が高くなっても、介護保険サービスが充実している方がよい」と回答した人の割合が、一般高齢者より要支援・要介護認定者の方が高くなっています。

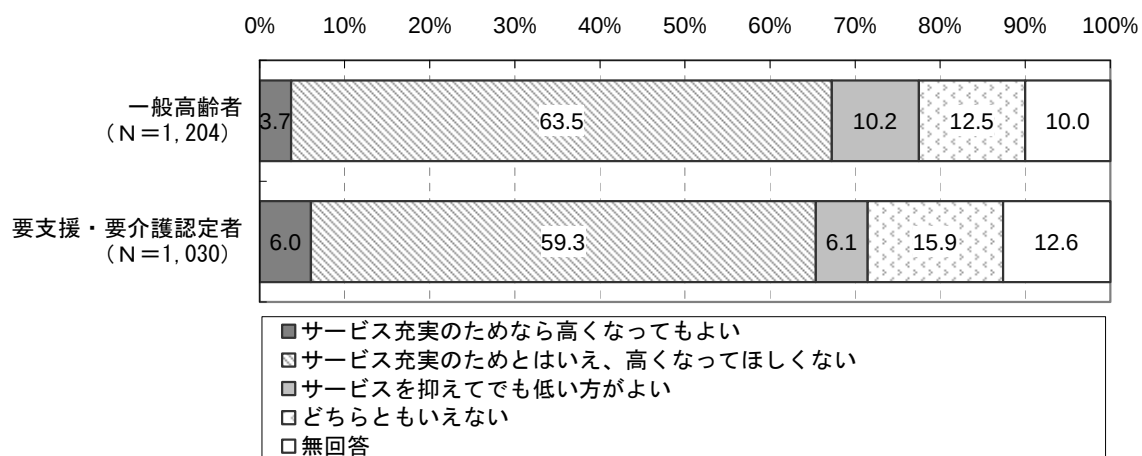
■ 今後の介護保険のあり方



介護保険料について、第4期計画策定時に行った調査では一般高齢者、要支援・要介護認定者ともに「サービス充実のためとはいえ、高くなってほしくない」と回答した人が6割程度となっており、「サービス充実のためなら高くなっててもよい」は1割未満となっていました。

前回調査時から比較すると、介護保険料が高くなってても介護保険サービスの充実を求める人が多くなっています。

■ 介護保険料について（平成20年調査）



■ 今後の介護保険のあり方（平成23年調査）＜再掲＞

